

戦前わが国諸学校における「実業教科」の検定教科書一覧

—1940年代初頭までの手工科、工業科、商業科系、実業科（商業）教科書—

坂 口 謙 一

- I 問題の所在と課題
- II 「実業教科」の位置
- III 「実業教科」の教科書制度
- IV 検定教科書の調査と一覧表の性格
 - (1) 調査項目の概要
 - (2) 分類の方法と用語
 - (3) 『図書表』（累積版）の問題点
 - (4) 卷冊
 - (5) 版次と刷次
 - (6) 所蔵

I 問題の所在と課題

戦前わが国諸学校における実業の教科目・学科目^{①)}の多くは、それらが存続した期間の圧倒的部分において、基本的には、検定教科書のなかから、あるいは検定教科書と文部省編纂、文部省著作教科書とのなかから使用する教科書を選定できるとされていた。本稿は、これらの教科書のうち、後述の時期における検定教科書のすべてを一覧表にまとめることを目的としている。ただし、農業科、実業科農業など農業に関する教科目・学科目の教科書は扱わない。

調査対象となる教科目・学科目は、尋常・高等小学校の手工科、高等小学校の商業科、実業科工業、実業科商業、（尋常）中学校の工業科、商業科、実業科手工、実業科工業、実業科商業、実業科実業、高等女学校の実業科工業、実業科商業、（尋常）師範学校の手工科、商業科、実業科工業、実業科商業である。本稿ではこれらの教科目・学科目を「実業教科」と総称する。

一覧表に掲載する検定教科書は、民間において著作され、文部大臣による検定で認可された検定済教科用図書で、いわゆる検定合格本である^{②)}。このため、同じ検定済教科用図書であっても、各学校において実際に使用された供給本（内容・版次は合格本と同一）については、発行年月日と刷次が合格本と異なるものは除かれる。当然に、検定で不合格とされた不認定図書も扱わない。

なお、文部省編纂教科書とは、勅令、省令において「文部省ニ於テ編纂シタル」と定められた教

科用図書をさし、文部省著作教科書とは、同様に「文部省ニ於テ著作権ヲ有スル」と定められた教科用図書である。敗戦前に限っていえば、後者は一般に国定教科書と称されている^{*2}。

対象とする時期は、後にやや詳しくみるように、当該学校において教科書検定制度が実施され始めた当初から、郷土に関する図書や歌詞・楽譜を除くと（小学校）、すべての教科に関して、原則として文部省著作教科書がある場合は必ずそれのみを使用することとなるまでとする。この期間を学校別にみると次のようになる。本稿ではこれらの間に当該学校の「実業教科」用として検定認可された教科書をとり扱う。

尋常・高等小学校 : 1886年5月23日（①）～1941年4月1日（③）

（尋常）中学校 : 1886年5月23日（①）～1943年4月1日（④）

（尋常）師範学校 : 1886年5月23日（①）～1943年4月1日（⑤）

高等女学校 : 1892年4月1日（②）～1943年4月1日（⑥）

上の各年月日に付した（）内の記号は、当該日における制度改革を略記したものである。各改革のそれぞれの意義の概要については後述する。

① : 1886年5月10日公布の教科用図書検定条例（文部省令第7号）の施行日とみなした日^{*3}

② : 1891年12月14日公布の中学校令中改正（勅令第243号）の施行日

③ : 1941年3月1日公布の国民学校令（勅令第148号）と同年3月14日公布の国民学校令施行規則（文部省令第4号）の施行日

④ : 1943年1月21日公布の中等学校令（勅令第36号）と同年3月2日公布の中学校規程（文部省令第2号）の施行日

⑤ : 同中等学校令と1943年3月2日公布の高等女学校規程（文部省令第3号）の施行日

⑥ : 1943年3月8日公布の師範学校規程（文部省令第6号）の施行日

つぎに、これらの時期設定のいわば終わりの時点の位置づけについて述べる。

その一つは、資料上の制約の問題に関係している。

諸学校の検定教科書（合格本）の目録は、『官報』、文部省『検定済教科用図書表』——以下においてこれを『図書表』とする——、『文部時報』に掲載されている。『官報』においては、後述する1887年公布の教科用図書検定規則第5条にもとづき「広告」欄に記載された。『図書表』は、教科用図書検定条例が施行された1886年5月以後の検定教科書を掲げている^{*4}。また、1920年5月1日創刊の『文部時報』では、同年4月14日以後に検定認可された教科書の目録が記されている。

このうち『図書表』は、一部の時期を除くと——補注7参照——、1939年3月に検定認可された教科書を掲載しているものまで所在が確認されている。『文部時報』の検定教科書の記載は、1944年4月12日に認可された教科書を記している第814号（1944年6月10日発行）までで、第815号（1944年7月10日発行）からその記述がなくなった。また『官報』への記載も、大東亜戦争による行政簡素化の一環として発せられた1944年12月9日の文部省訓令第57号により廃止された（同日施行）。

なお、『官報』における合格本目録の記載が廃止された時点まで「実業教科」の検定教科書を調べることもできる。しかしその制度改訂はいわば検定教科書の公表に関するものであり、必ずしも教科書検定制度それ自体の改革のメルクマールにはならない。

また次のような本調査の客観性にかかわる問題もある。これは、1943年の中等学校令と同年3月2日公布の実業学校規程（文部省令第4号）の施行（同年4月1日）により、実業学校の実業科の教科書が実質的には検定制のもとにおかれることになったことにはかかわっている。

がんらい実業学校の教科書に関しては、1932年11月25日の教科用図書検定規則中改正（文部省令第18号、同日施行）により、「普通学科目」の生徒用教科書に限り検定制がはじめて導入された。これとともに、1933年5月10日公布の教科用図書ノ検定調査並ニ不検定図書ノ件（文部省告示第212号）によって、実業学校における実業学科目や工業、工業要項、商業、簿記などの実業に関する加設科目の教科書は検定の対象としないとされた。後述する中学校などとともにこの実業学校についても、1943年の中等学校令と実業学校規程の施行により、実業科をふくむすべての教科につき、原則として文部省著作教科書を使用し、それがない場合に限り検定教科書を用いることとなった⁵⁶⁾。同実業科の文部省著作教科書は発行されなかったので、その結果、諸学校の実業の教科の検定教科書は、総計でみてその種類がきわめて多くなった。

同時に、1943年の実業学校規程では、農業学校、工業学校、商業学校、水産学校、拓殖学校、その他の「実業教育を施す学校」それぞれに多様な学科が設置され（ただし商業学校は商業科のみ）、したがって科目も多様であった。

他方、たとえば1943年4月5日に実業学校の実業科用として計64種の教科書が検定認可されている。これらの教科書は『官報』『文部時報』とも、たんに実業学校の「実業科」用として認可されたと記しているのみで、両資料からはそれらが実業学校実業科のうちのいずれの学科ないしは科目用として編纂されたのかなど、種別の詳しいところはわからない⁵⁶⁾。

さらに、国民学校や1943年以後の（新制）中等学校の教科書は、いわゆる暫定教科書をふくめた戦後の教育との関係において検討する必要もある。これについては1943年以後の工業学校の検定教科書の内容を、新制高校の工業教育のそれとの関連で概略分析した原正敏の研究⁵⁷⁾が示唆的である。これは、文部省教科書課の所蔵資料をも比較資料として活用するなど1943年以後の実業学校の教科書研究のむずかしさを示しているばかりでなく、新制高校の当初の工業教育がとりわけ1943年の実業学校規程の影響を著しく受けたことを指摘している。

本稿ではおもにこれらの問題により、いわば第一報として、小学校については1941年4月1日まで、中学校、高等女学校、師範学校については1943年4月1日までの「実業教科」の検定教科書を調べることにした。

検定教科書の存在、およびその編纂内容の概要等は、おもに中村紀久二編で復刻された『図書表』（累積版）⁵⁸⁾にもとづいて調査した。『図書表』の記載内容等に不明確なところがあったり、『図書表』そのものが現存していないとみられている時期⁵⁹⁾については、『官報』『文部時報』により調べた⁶⁰⁾。

本稿末尾の一覧表に掲載した教科書は、大部分につき現物を確認していないことをあらかじめ断わっておく。

ところで、わが国資本主義は大規模な農業人口をかかえながら進展した。このため、この経済的構造を基盤として、諸学校の実業の教科目・学科目は全国規模でみると農業の教育中心であった。この教科目・学科目の存在構造の特徴は、戦後の新制中学校の「職業教科」、新制高等学校の「職業学科」の構造にも影響を与え、おおむね高度経済成長が進展するまでかわらなかつた⁹⁾。したがって、戦前における諸学校の実業の教科目・学科目教育の特徴や意義を考察するにおいて、農業の教科書を調べることは重要である。しかしそれらについては、島田喜知治の詳しい調査¹⁰⁾がある。この調査結果は、たとえば「検定教科書」としてあげられているものが合格本であるのか供給本であるのかなど判然としない面もあるけれども、諸学校における農業教科書の存在形態の概略を明らかにしているとみられるので、農業の教科書については本稿では扱わない。また近年、たとえば高等小学校については、農業科、実業科農業の文部省著作教科書の内容も検討されている¹¹⁾。

これに対し、「実業教科」の教科書に関しては、手工科や実業科工業については一定の研究があるものの¹²⁾、それらについても後述のような問題をふくんでおり教科書研究の進展は充分でない。

このうち手工科の教科書に関する従来の研究は、上原六四郎、岡山秀吉著の『小学校教師用 手工教科書』甲・乙・丙・丁（1904年）が文部省編纂の唯一の手工科教科書であったこともあり、とくにこれのみに注目してきたきらいがある¹³⁾。たしかに、同書が小学校の手工科教育実践に与えた影響は小さくないとおもわれるので、これらの研究成果を軽視することはできない。

しかし同時に、この研究動向は、他面において検定教科書の存在を見過ごさせる傾向をも生みだしてきたようにおもわれる。手工科の検定教科書については、森下一期¹⁴⁾らによって、小学校用のそれの内容や教授法が一部分析されている¹⁵⁾。ただし、当該教科書をそれが検定教科書であることを勘案したものであったり、いわゆる教授用書などとは別個に検定教科書一覧を作成し、手工科検定教科書の存在構造をも明らかにしようと試みているのは森下のみで、この調査も19世紀の教科書に関するものに限定されている。また、戦前において教科書の検定制を実施した諸学校のうち、手工科を設置したのは小学校のみに限られていたわけではなく、（尋常）師範学校もそれに該当していた。「師範学校」の手工科教育実践史研究そのものが進展していないこともあって、（尋常）師範学校用の手工科教科書にとりたてて着目した研究はみあたらぬ¹⁶⁾。

商業科や実業科商業については、たとえば都市部の高等小学校では、農業をふくめた実業の教科目のうち、最も実施する学校の割合が高かったとみられるが¹⁷⁾、管見の限り諸学校の商業の教科書に関する実証的な調査・研究は皆無に等しい。

このことは、1926年4月22日公布の小学校令中改正（勅令第73号）。小学校令施行規則中改正（文部省令第18号）施行以後において、高等小学校、国民学校高等科に設置されていた実業科工業の教科書に関する次の問題からものべることができる。

三羽光彦と佐々木享は、実業科工業の教科書は、1944～45年に文部省著作の『高等科工業』上

(1944年8月)・下(1945年3月)が発行されるまで「文部省著作はもちろん、検定教科書も存在しなかった」と指摘している¹⁴⁾。たしかに実業科工業の文部省著作教科書は、『高等科工業』が発行されるまで一種も発行されなかった¹⁵⁾。しかし、検定教科書についての指摘は事実誤認である。前述のような小学校に関して本稿がとり扱う時期に限ってみても、後掲の一覧表に記した如く(分類II②)、検定認可された実業科工業の教科書は少なくとも5種存在していた——補註14参照——。このことも、「実業教科」の教科書とりわけ検定教科書に関する研究の遅れを象徴しているようにおもわれる。

II 「実業教科」の位置

小学校、(尋常)中学校、高等女学校、(尋常)師範学校の教科課程・学科課程における「実業教科」の位置の概略をはじめにまとめておく。ただし、補習科や専修科などは除き、いわゆる本科と実科についてのべることとする。

小学校の手工科は、高等小学校には1886年5月25日の小学校ノ学科及其程度(文部省令第8号)により、尋常小学校には1900年8月20日公布のいわゆる第三次小学校令(勅令第344号、同年9月1日施行)によって加設科目¹⁶⁾として登場し、国民学校令の施行により芸能科工作にかわるまで存続した。高等小学校の手工科は、1926年の小学校令中改正・小学校令施行規則中改正の施行(同年5月11日¹⁷⁾)により、実業科とは別個に男女とも原則として必修となった。なお、1886年に高等小学校に成立した手工科は、1881年5月4日の小学校教則綱領(文部省達第12号)による加設科目「工業ノ初步」をその前身としていた。

小学校教則綱領においては「商業ノ初步」も小学校の加設科目として位置づけられていた。これが1886年の小学校ノ学科及其程度により「商業」に改められ、小学校の商業科は、高等小学校の加設科目として成立した。これ以後商業科は、授業時間数や高等小学校の加設科目の位置の改訂などにより、前述の高等小学校の手工科とともに教科課程における位置づけがかわるが、尋常小学校にはないいわば高等小学校に固有の教科目とされていた。

ついで1926年の小学校令中改正・小学校令施行規則中改正の公布によって、高等小学校では男女とも原則として必修の実業科が成立し、同改正の施行から商業科は実業科の一科目である実業科商業となった。この構造はつづく国民学校令にも継承された。

1926年の小学校令中改正・小学校令施行規則中改正においては、実業科の一科目として実業科工業も成立した。実業科工業は、国民学校令においても高等科の実業科に位置づけられた。

中学校の「実業教科」は、1886年6月22日の尋常中学校ノ学科及其程度(文部省令第14号)により、商業科と工業科が加設科目として尋常中学校に登場した。これらは、1893年3月1日公布の尋常中学校ノ学科及其程度ニ関シ改正(文部省令第7号)の施行(1894年4月1日)まで存続した。

この後、1893年の尋常中学校実科規程や、尋常中学校を中学校に改めた1899年の中学校令を経て、1911年7月31日、中学校令施行規則中改正(文部省令第26条、1912年4月1日施行)が公布された。

これにより、中学校では原則として必修で、「農業」「商業」「手工」からなる実業科が登場し、実業科商業、実業科手工が成立した。実業科手工は1919年3月29日公布の中学校令施行規則中改正（文部省令第7号）の施行（同年4月1日）により廃止され、かわって同規則中改正の公布により実業科工業が成立した。これら中学校の実業科商業、実業科工業は、1931年1月10日公布の中学校令施行規則中改正（文部省令第2号、同年4月1日施行）によって第一種課程の増課科目とされた。同時に、同規則中改正と1931年2月7日の中学校教授要目（文部省令第5号）により、第一種課程の増課科目とされた実業科において農業、工業、商業を総合する「実業」が位置づけられ、実業科実業が成立した。これらの位置づけは1943年の中学校規程の施行まで基本的にかわらなかった。なお中学校規程における実業科（全日制）は、第3学年以上においてそれと外国語科とのいずれかを必ず学ぶこととされた。

高等女学校の「実業教科」は、1910年10月27日公布の高等女学校令施行規則中改正（文部省令第23号、1911年4月1日施行）による実科の実業科の成立にはじまる。原則として必修とされたこの実業科において「農業」「工業」「商業」が位置づけられ、実業科工業、実業科商業が登場した。また、1920年7月21日公布の高等女学校令施行規則中改正（文部省令第15号、同年7月26日施行）により、いわゆる本科においても加設科目の実業科が成立し、実業科工業、実業科商業が誕生した。これら本科と実科の実業科の構造や位置は、1943年の中等学校令、高等女学校規程の施行まで基本的にかわらなかった。ちなみに同高等女学校規程では、実業科は家政科などとともに増課教科の一つとされた。

「師範学校」においては、1881年8月19日の師範学校教則綱領（文部省達第29号）により工業科、商業科が加設科目として登場した。これらは1886年の師範学校令、同年5月26日公布の尋常師範学校ノ学科及其程度（文部省令第9号）、同年10月14日公布の高等師範学校ノ学科及其程度（勅令第13号）の施行により廃止された。かわって尋常師範学校では、男子の必修教科として「農業手工」が登場した。「農業手工」は、1892年7月11日公布的尋常師範学校ノ学科及其程度（文部省令第8号、1893年4月1日施行）により「農業」と「手工」に分離され、これにより尋常師範学校において男子の加設科目の手工科が誕生した^{*10}。また同令によって尋常師範学校では、男子の加設科目として商業科も誕生した。

尋常師範学校を師範学校に改称した1897年の師範教育令を経て、1907年4月17日、師範学校規程（文部省令第12号）が公布され、1908年4月1日から施行された。これにより師範学校の本科第一部、第二部において手工科が男女とも必修となった。この手工科の位置づけは、1943年公布の師範教育令、師範学校規程の施行により手工科が芸能科工作にかわるまで基本的にかわらなかった。

他方、商業科については、1907年の師範学校規程において本科第一部の男子に限りそれと農業科のいずれかを必ず学ぶことと定められた。このことは1925年4月1日公布の師範学校規程中改正（文部省令第8号、同日施行）により、本科第二部の男子にも適用されることになった。同時に商業科は、修業年限2年に限り本科第二部の女子の加設科目にも位置づけられた。

ついで1931年1月10日公布の師範学校規程中改正（文部省令第1号、同年4月1日施行）により、師範学校本科において実業科が成立し、実業科工業と、従来の商業科にかわって実業科商業が登場した。実業科は、男子については第一部、第二部とも必修、女子については第一部、第二部とも増課科目の一つとされた。この実業科の位置は、1943年の師範教育令、師範学校規程の施行まで基本的にかわりはない。なお同師範学校規程における本科の実業科は、男子部のみの必修教科とされ、女子部においては設置されなかった。

III 「実業教科」の教科書制度

つぎに、本稿で注目する時期における小学校、中学校、高等女学校、師範学校の教科書制度を「実業教科」の教科書にかかる限りで概略整理しておく。ただし第Ⅱ章と同様に、本科と実科についてのみのべる。

小学校、中学校的教科書は、1886年4月10日の小学校令（勅令第14号）第13条、同日の中学校令（勅令第15号）第8条により、「文部省ノ検定シタルモノニ限ル」とされた。また「師範学校」の教科書の採用方式については、同日の師範学校令（勅令第13号）第12条により、「師範学校」の教科書は「文部大臣ノ定ムル所ニ依ル」とされた。これらにもとづき同年5月10日、教科用図書検定条例が公布され、「小学校師範学校若クハ中学校ノ教科用ニ充ツルニ足ルト思考スル所ノ図書ヲ有スルモノハ文部省ニ願出テ其検定ヲ請フコトヲ得」（第1条）と定められた。これにより、近代わが国教科書検定制の実施基盤が確立し、尋常・高等小学校、尋常・高等中学校、尋常師範学校の教科書検定制度が成立した。教科用図書検定条例は、1887年5月7日の文部省令第2号により教科用図書検定規則に改められた。

文部省は1886年12月9日付の『官報』において、これらの教科書検定の要旨を説明している。そこでは、「文部省ニ於テ教科用図書ヲ検定スルノ要旨ハ該図書ノ教科用タルニ弊害ナキ」ヲ証明スルニ止マリ」とされ、当時の検定制のねらいは、教育内容をイデオロギーによって規制するというような教科書内容の国家統制では必ずしもなかった。

なお、戦前わが国の教科書制度に関する諸論稿が小学校用教科書の叙述にやや偏るきらいがあり¹⁰⁾、「師範学校」のそれについては必ずしも充分には説明されてこなかったとみられるので「師範学校」の検定制を概略のべておく。

その一つは、前述の1886年の教科用図書検定条例において定められた「師範学校」に関する教科書の採用方式は、高等師範学校には適用されなかった点である¹¹⁾。

1886年の師範学校令では、周知のように「師範学校ヲ分チテ尋常高等ノ二等トス」（第2条）と規定されており、同令で定められた「師範学校」という用語は尋常師範学校と高等師範学校の2つをふくめたものであった。同年の教科用図書検定条例においても、「師範学校」の教科書の採用に関して尋常と高等の区別はない。これらによれば、尋常師範ばかりでなく高等師範においても検定制が登場したと解することもできる。

しかし、1886年7月7日の文部省訓令第7号により、「勅令第十三号師範学校令第十二条尋常師範学校ノ教科書ハ当分左ノ図書ヨリ選用スヘシ」と通達された。これにより、1886年の教科用図書検定条例の施行以後において検定認可された教科書が少数であった尋常師範学校については、そこで採用すべき教科書が指示された^{*11)}。他方、高等師範学校、女子高等師範学校の教科書の採用方式に関してはじめて別段の規定が設けられたのは、1940年11月26日公布の高等諸学校教科書認可規程（文部省令第42号、同日施行）においてである^{*12)}。後述のようにこれにより高等師範学校、女子高等師範学校などにおいて教科書の認可制が導入された。なお、高等師範学校、女子高等師範学校用などと明記された検定教科書は管見の限り存在していない。

第二に、尋常師範学校の検定制は、制度上では、小学校や中学校のそれのように、教科書を「文部省ノ検定シタルモノニ限ル」と定めたわけではなかったことである。これと同様の規定が「師範学校」に登場したのは、1911年1月14日公布の師範学校規程中改正（文部省令第2号、同日施行）においてであった。これにより、師範学校の教科書については、原則として「文部大臣ノ検定ヲ経タルモノニ就キ地方長官ノ認可ヲ経テ校長之ヲ定ム」（第47条）とされた。ただし先の文部省訓令第7号の通達内容からみて、1886年に成立した尋常師範学校の検定制は、実質的には、検定教科書のなかから使用する教科書を選定することを定めたものであったとみられる。

つぎに、高等女学校の検定制成立と、小学校、中学校の検定制の経緯をのべる。

高等女学校に関しては、1891年12月に中学校令中改正が公布され、尋常中学校の一種として高等女学校が誕生した。これにより高等女学校の検定制が成立し、翌1892年4月1日から施行となった。この後、1899年2月8日の高等女学校令（勅令第31号、同年4月1日施行）などによって高等女学校制度が整備されるとともに、高等女学校の教科書は原則として「文部大臣ノ検定ヲ経タルモノニ就キ地方長官ノ認可ヲ経テ校長之ヲ定ム」（高等女学校令第13条）と定められた。これとともに、1899年4月1日の教科用図書検定規則中改正（文部省令第23号）により教科用図書検定規則が一部改められ、高等女学校の検定制も整備された^{*13)}。

1899年2月7日、中学校令（勅令第28号）が公布され、同年4月1日から施行された。これにより、尋常中学校は中学校に改称され、中学校の教科書は、原則として「文部大臣ノ検定ヲ経タルモノニ就キ地方長官ノ認可ヲ経テ校長之ヲ定ム」（第12条）とされた。他方、高等中学校は1894年6月25日公布の高等学校令（勅令第75号）の施行（同年9月11日）により廃止され、かわって登場した高等学校については教科書の採用に関して別段の規定は設けられなかった。ちなみに、高等学校の教科書の採用方式については、1919年3月29日公布の高等学校規程（文部省令第8号）により、原則として「文部大臣ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ムヘシ」（第23条）とされ、認可制が成立した。

また小学校の教科書の採用に関しては、1900年の小学校令によって、「小学校ノ教科書ハ文部省ニ於テ編纂シタルモノ及文部大臣ノ検定ヲ経タルモノニ就キ小学校図書審査委員会ノ審査ヲ経テ府県知事之ヲ定ム」（第24条）と改められた。ちなみに、前述の文部省編纂『小学校教師用 手工教科書』は、この規定にもとづいて発行された。

なお、1892年4月23日の教科用図書検定規則中改正（文部省令第5号）と1895年5月22日の同改正（文部省令第3号）によって、検定済の教科書（供給本）には、その検定年月日と同書の対象としている学校、教科目・学科目等の別を記載することと定められた。

1881年5月9日の文部省達第16号にはじまる開申制から、1883年7月31日の文部省達第14号による認可制を経て、1880年代後半には前述の諸学校において検定制が成立した。これにくわえ、1903年4月13日の小学校令中改正（勅令第74号）と同年4月29日の小学校令施行規則中改正（文部省令第22号）により、小学校の修身科、国語科、算術科、日本歴史科、地理科、図画科について、いわゆる国定教科書制度が誕生し、これらの教科目においては文部省著作教科書のみを使用することと定められた（1904年4月1日施行）。

ただし他方では、同小学校令中改正・小学校令施行規則中改正において、手工科、商業科など、それら以外の教科目については、「文部省ニ於テ著作権ヲ有スルモノ及文部大臣ノ検定シタルモノニ就キ府県知事ヲシテ之ヲ裁定セシムルコトヲ得」（同小学校令中改正第24条）と定められた。小学校においては、前述の修身科などの教科目以外の教科書については、文部省著作教科書ばかりでなく検定教科書の使用も認められ、検定教科書と文部省著作教科書とが制度上同時に使用されるという構造が成立したわけである。以後、たとえば1910年には理科（文部省令第21号）、1919年には家事科（文部省令第6号）の教科書も国定化された。これに対し、本稿で注目する手工科、商業科などの「実業教科」については、1941年の国民学校令、同施行規則の施行まで同様の改訂はおこなわれなかった。このため、国民学校令、同施行規則の施行により、郷土に関する図書や歌詞、楽譜を除いて、教科用図書は文部省著作がある場合には必ずそれを使用することとなるまで、小学校の「実業教科」については、制度上前述のような検定教科書と文部省著作教科書との二重構造が存続した^{*10)}。

他方、検定制施行以後の（尋常）中学校、高等女学校の教科書制度については、1943年の中等学校令、中学校規程、高等女学校規程の施行により、制度上すべての教科において文部省著作教科書がある場合は必ずそれを用いることとなるまで、検定制のみが採られていた。同じく（尋常）師範学校のそれについても、1943年の師範学校規程の施行により、特別の必要がある場合を除くと、制度上すべての教科用図書について文部省著作を使用することとなるまで、検定制のみが実施されていた。

なお、1943年の師範教育令によって専門学校レベルに昇格した師範学校について、上のような国定教科書制度が採用されたことは、一つには、高等教育・専門教育機関の教科書採用方式の統制を強化する施策の一環であったとみられる。前述の1940年の高等諸学校教科書認可規程により、従来は教科書のいわゆる自由選択制がとられていた高等師範学校、女子高等師範学校、専門学校、実業専門学校などについても、大学予科や高等学校にくわえて、教科書の認可制が導入された。これは、文部省図書局長の説明によると、教学刷新を徹底させるため「あらゆる高等程度の学校に教科書使用について認可制度を実施」する施策であった^{*11) *12)}。ちなみに実業専門学校については、1943年

3月26日公布の高等諸学校教科書認可規程中改正（文部省令第10号）の施行（同年4月1日施行）によって、認可制が廃止された。

ところで、1892年9月19日の文部省告示第9号においては、小学校用として裁定できる教科用図書の種類が定められ、「生徒」用と教師用の2種とされた。これが1900年8月25日の文部省告示第182号により児童用、教員用、教授用（掛図類）の3つとされ、ついで、1907年10月4日の教科用図書検定規則中改正（文部省令第31号）によって児童用と教師用（掛図類を含む）の2種に改められた。また1907年の同規程中改正においては、中学校、高等女学校、師範学校用として裁定できる教科用図書についても、生徒用と定められた。ちなみに、小学校用教科書の児童用、教師用等の種別は、前述した1895年5月の教科用図書検定規則中改正により、検定年月日等とともに教科書（供給本）に付記することとなった（第14条）。

同時に、小学校の一部の教科目については、裁定できる教科書の種類がさらに限定されていた。手工科については、前述の1892年の文部省告示第9号や1903年的小学校令施行規則中改正によって児童用教科書の裁定が不可とされ、この規定は国民学校令、同施行規則の施行まで改められなかつた。商業科などのその他の「実業教科」については同様の規定は設けられていない。

IV 検定教科書の調査と一覧表の性格

本稿の課題は対象時期における「実業教科」の検定教科書のすべてを一覧にまとめることにある。以下においては、おもに検定教科書の調査の観点、調査結果の分類とその用語などの面から教科書一覧表の性格をのべる。

(1) 調査項目の概要

『図書表』は、小学校、中学校などの学校別に、各教科目・学科目の検定済教科用図書（合格本）を、検定年月日順に掲載している。本稿の一覧表の構成は、基本的にはこの『図書表』の分類にもとづいている。すなわち、各教科書を、(1) それらの使用対象とされた教科目・学科目の別を分類の第一の観点とし、手工科、工業科、商業科系、実業科（商業）の4つに大区分した。(2) つぎに、その大分類のもとに小学校用、中学校用など使用対象とされた学校の種別や、小学校用についてはさらに教師用、児童用の別など、教科書を使用する対象を細分類し、(3) 細分類した各種別ごとの教科書を、検定年月日順に配列したものが一覧表である。

『図書表』が各教科書に関して記載している項目は、時期により若干異なる部分もあるが、基本的には「学校種別」、「図書名」、「巻冊」、「発行年月日」、「検定年月日」、「定価」、「臨時定価」（それのあるもののみ）、「著者」、「発行者」の9つである。本稿では、①これらの全項目と、後述のように、②検定済教科書の内容等を改めたためふたたび検定を申請しそれが認可された教科書に該当するものについては、いわばその前身にあたる教科書に関する事項や、③東京書籍株式会社東書文庫における当該教科書の所蔵の有無をおもに調べた。これらの調査結果は、1) 学校種別などの分

類、2) 書名、3) 卷冊、4) 発行年月日、5) 檢定年月日、6) 著者、7) 発行者、8) 定価、9) 臨時定価、10) 備考、11) 所蔵、として一覧表に記した。

(2) 分類の方法と用語

教科書は、凡例に掲げたような計24種に区分した。各種別の冒頭に付した記号は一覧表における筆者がつけたそれらの分類番号である。番号の頭のⅠは手工科用書、Ⅱは工業科用書、Ⅲは商業科系用書、Ⅳは実業科（商業）用書であることを表している。これら4つの大分類の用語については後述するけれども、大分類のもとに区分した高等小学校用であるとか尋常小学校教師用であるとかの細分類の方法とその用語は『官報』などの調査資料にもとづいている。このため、たとえば小学校の商業科は制度上高等小学校のみに設置された教科目であったけれども、『官報』などにおいてたんに「小学校」の商業科用とされている教科書については高等小学校用ではなく小学校用とした（分類Ⅲ①）。

なお、高等小学校手工科用書（Ⅰ①）、高等小学校工業科用書（Ⅱ①）、小学校商業科用書（Ⅲ①）、高等小学校商業科用書（Ⅲ②）のように、検定制実施初期の小学校の教科書は、教師用、児童用などの区別が明確でない。これは、その当時においてそれらの種別が制度化されていなかったためであるが、これらの教科書の大部分は教師用であったとみられている¹⁹⁾。

つぎに、大分類に関するいくつかの断わりをのべておく。

その一つは、分類方法と分類用語についてであり、とくに工業科、商業科系、実業科（商業）につき説明しておく。第Ⅰ章の冒頭でのべたことにそくしていえば、結果として、工業科はおもに高等小学校の実業科工業に、商業科系は高等小学校の商業科と実業科商業、尋常中学校商業科、師範学校商業科に、実業科（商業）は中学校、高等女学校、師範学校の実業科商業に該当する。ちなみに手工科は尋常小学校・高等小学校の手工科と師範学校のそれである——実業科（商業）用書については、本小節「分類の方法と用語」の末尾を参照のこと——。たとえば尋常中学校の工業科など、これらのいずれにも該当しない学科目は、管見の限り当該の検定教科書が発行されなかつるものである。なお、『官報』にもとづき工業科用書として分類した平賀義美『手工教科書』（工業科系教科書No.1）は、一覧表の備考に記したように『図書表』では「小学校」の「手工科」用書とされている（備考欄註※3）。また、中学校の実業科工業について20年余にわたる精緻な調査を実施した原正敏は、同実業科工業においては、商業学校の工業大意用として編纂された教科書が使用されていたとみている²⁰⁾。

高等小学校の実業科工業の教科書を、実業科工業ではなく工業科用書として分類したこと、同様に、高等小学校の実業科商業の教科書を、実業科（商業）用書ではなく、商業科のそれとともに商業科系用書にまとめたことはおもに次の理由による。

高等小学校に実業科が成立したのは前述のように1926年の小学校令中改正・小学校令施行規則中改正においてである。しかし『図書表』に「小学校」の「実業科」用と記された教科書が登場する

のは1931年度分のみである。『官報』においては、国民学校令、同施行規則の施行まで、高等小学校の「実業科」用などと明記された教科書は一度も掲載されていない。これらの理由が定かでないこともあって、本稿では、検定年月日からみて高等小学校の実業科工業用、実業科商業用であるとわかる教科書についても、『官報』等の記載にそくし、工業科用、商業科系用として分類した。

なお、たとえば高等小学校商業科の児童用教科書のなかには師範学校の英語科や中学校・高等女学校の外国語科においても使用されていたものがある（分類Ⅲ④、Ⅲ⑤）。これは1911年7月31日公布の小学校令中改正（勅令第216号）によって、高等小学校では、独立した加設科目であった英語科が商業科にふくまれたことに関係している。また、商業科系とした教科書のなかには、分類IVの実業科（商業）用書が一部ふくまれている（分類Ⅲ⑥、Ⅲ⑪）。これは、商業科用書であるとともに他の学校の実業科商業用書でもある教科書があったためで、繁雑な面もあるが同一教科書の重複掲載を避けるためにおこなった。商業科ではなく商業科系という用語を使用したのは、このように一部の学校の商業科用書のなかには同時にその他の学科用書でもあったものが存在していたためである。

他方、実業科（商業）用とした教科書の分類は、筆者の推測にもとづいているところが大きい。これらの教科書は『図書表』のみならず『官報』『文部時報』においても、実業科商業用と明記されているわけではなく、たんに中学校、高等女学校、師範学校の「実業科」用として記載されているものである。このため『図書表』などで「実業科」用とされている教科書には、実業科農業用のそれもふくまれている。本稿では実業科農業の教科書は扱わないので、「実業科」用教科書のなかから実業科商業用のそれとおもわれるものを、教科書名を観点としてとり出した。これは大部分の教科書につきその实物を確認していない本調査の限界である。また、実業科商業用ではなく実業科（商業）用としたのもこのためである。なお、書名のみからでは実業科商業用であるのか実業科農業用であるのかなどを判断できない教科書が少なくとも中学校と高等女学校に関してそれぞれ1点づつある。これらについては後述の凡例に記したように備考欄に▲印を付けた。実業科（商業）教科書No.23『中等実業大意』である中学校のそれは、実業科実業用の教科書であるともおもわれる。

(3) 『図書表』（累積版）の問題点

ところで『図書表』の記載内容には、『官報』『文部時報』のそれに比べてやや簡略化されているむきがある。

その一つが「学校種別」欄で、時期が下ると、とりわけ「小学校」用とされた教科書の種別内容が不明確となる。たとえば制度上小学校の検定教科書は、1892年以後においては児童（「生徒」）用と教師用、1900年以後においては児童用、教員用、教授用、1907年以後においては児童用と教師用があったことは前述した。それ以前の時期を除いて、1917年度までに検定認可された小学校用教科書を掲載している『図書表』では、これらの教師用と児童用などの区別を「学校種別」欄に明記している。理由は明らかでないが、これが『図書表』に限って1918年度からおもに「実業教科」の教

科書について記載されなくなった。

この他にも『図書表』のみからでは含意の詳細が定かでないものに、教科書名の上部にたんに「修正」の2文字を記した付記がある。『図書表』掲載の教科書には、この「修正」という但書のあるものが少なくない。これは、教科用図書検定規則の規定にもとづいている。同規則では、検定認可された教科書であっても内容等を改めた場合にはそれを合格本とはみなさないという定めがある(第8条)。このため、内容等を改訂したときには、改訂本をあらためて認可申請しなければならず、これにより検定認可された教科書につき、『図書表』では「修正」の2文字を付記している。ただし『図書表』では、再認可された改訂本の改訂前の教科書に関する記載がなく、改訂本のいわば前身にあたる教科書を判別しにくい。他方、『官報』や『文部時報』では、『図書表』において「修正」の2文字のある教科書については、「右〇年〇月〇日検定済ノ処修正発行セリ依テ更ニ×年×月×日検定ス」などと記され、改訂本の前身の教科書の検定年月日が明らかである。一覧表では『図書表』で「修正」の字句が付された教科書については、その前身本の検定年月日を、「〇年〇月〇日検定済を修正」として備考(※印註)に記した。同時に、その前身本とみられる教科書を、一覧表で大分類ごとに付けた各類の累計番号を用いて△△教科書No.××とした。なお、筆者の調査が散漫なため、管見の限り検定年月日から前身本を判明できなかった教科書が一部ある。これについては、先の教科書Noのかわりに「不明」の文字を記した。

『図書表』には、これら以外にも、わずかではあるが明らかに誤字・誤植とわかる部分もある。このため本稿では、『図書表』にもとづいて調べた教科書については、それらすべての種別と、「修正」の付記があるものはその内容の詳細を、また誤字・誤植とみられる部分を『官報』で確認した。『文部時報』の教科書目録から調べた教科書についても同様の確認をとった。『図書表』や『文部時報』の内容と『官報』のそれとが異なる場合は、『官報』の内容を採用した。

(4) 卷 冊

ただし卷冊については、『図書表』ばかりでなく『官報』や『文部時報』からも詳細を確認し難い。たとえば、小学校商業科用書の『初学商業書』(商業科系教科書No.1)のそれは、「卷冊」欄の内容のみからでは読みとれないが「定価」欄の内容とてらしあわせると、前編・後編の全2冊であることがわかる。これに対し、高等小学校商業科用書の『小学商業書』(商業科系教科書No.4)のそれも、同じく全2冊であることは「卷冊」欄から判別できるが、それが上・下2冊であるのか、前編・後編の2冊であるのかなどの詳細は「定価」欄からも識別できず、実物を確認しない限りわからない。一覧表の卷冊についてはこうした曖昧な部分がある。

なお、『図書表』などで卷冊の詳細が不明であっても、後述の東京書籍株式会社『東書文庫所蔵教科用図書目録』——以下においてこれを『東書目録』とする——においてそれが判明できる教科書については、わかる限りを卷冊欄に記した。

(5) 版次と刷次

つぎに発行年月日に関して一言しておく。

今日では、印刷の版を組んだ回次を版次、また基本的には同一の印刷版を用いて印刷物を一度に一定部数刷ったその回次を刷次と称していることが多い。たとえば、最初の版で最初に刷った印刷物には「初版第一刷」などと記されている如くである。しかし、戦前においては「版(次)」と「刷(次)」とを混在して用いることが多かったよう²¹⁾、本稿で注目する時期の検定教科書に関しても、とくに「版」という字句の含意が今日のそれとは違っている面がみられる。

『東書目録』によると、たとえば「昭和四年三月八日文部省検定済高等学校商業科児童用」という付記がある神奈川県教育会編纂の『商業教科書』の上巻が東書文庫に所蔵されている(P.575)。これは、検定年月日等が記されているのでいわゆる供給本に該当する。同時に同書は、1932年発行の「訂正5版」であるとされている。この「(訂正)5版」とは、今日でいうところの版の回次ではなく、後述のように刷次を示しているとみられる。「訂正」ないしは「訂正再版」という字句の含意については中村紀久二が明らかにしており、これらが、当初検定を不可とされた教科書に修正をくわえて改めて認可申請したことを示していることはよく知られている²²⁾。たとえば同じく高等学校商業科児童用書の『簡易簿記教科書』(商業科系教科書No.109)は、発行年月日がたんに1929年9月30日となっており、申請本(見本本)が無修正で検定認可されたものであることがわかる。

他方、一覧表に掲げた如く、1929年3月8日に神奈川県教育会による『商業教科書』が高等学校商業科児童用書として検定認可されている(商業科系教科書No.103)。これは1929年3月3日に「訂正再版」として発行されたものであった。

これらのことからみて、前述の東書文庫所蔵の『商業教科書』(上)は、1929年3月3日に「訂正再版」として発行された『商業教科書』(上)の第5刷のものであると考えられる。このことは、東書文庫の『商業教科書』が、一覧表に記したそれ(合格本)とくらべて書名や検定年月日、種別などが同一であるのに、発行年と「5版」という部分のみが違っている点によく示されている。一覧表の所蔵覧の備考〇に記したように、『東書目録』によると1933年4月4日に訂正再版発行された高等学校商業科児童用書の『最新 商業教科書 四訂版』(商業科系教科書No.177)の供給本が東書文庫に所蔵されている。その上巻が1934年発行の「105版」、下巻が同年発行の「103版」であることは興味深い。

なお「訂正再版」という字句に関しては、「訂正再版」それ全体が版次を意味し刷次は明記されていないのか、あるいは「訂正」が版次を「再版」が刷次を示しているのかなどの点についてはやや判然としない。たとえば師範学校手工科用書の『師範学校女子用 手工教科書』(手工科教科書No.9)は、1923年1月12日に「再版」として発行されている一方で、小学校商業科用書の『初学商業書』(商業科系教科書No.1)は1888年7月6日に「訂正」として発行されているからである。ただし先に述べた中村の指摘や、一覧表の如く、「訂正再版」として発行された検定教科書が少なくないことなどからみて、「訂正再版」とは修正・訂正を施した書物を再発行したという程度の意味

で、いわば訂正（初）版第一刷として解せるようにおもわれる。

(6) 所 藏

わが国において戦前の検定教科書を数多く所蔵している機関に東書文庫と国立教育研究所附属教育図書館がある。これらはともに、所蔵教科書の詳しい目録が出版され便宜がはかられていることでも知られている。ただし、鳥居美和子編『明治以降教科書総合目録』（I 小学校編、1967年、II 中等学校編、1985年）として公表されている附属教育図書館のそれは^{*16)}、申請本、合格本、供給本の区別が全くわからないという問題をふくんでいる^{*23)}。これに対し、『東書目録』（第1集、1979年、第2集、1981年、第3集、1982年）では、奥付等に検定年月日などが記されている検定教科書についてはその旨を明記しており、所蔵教科書を供給本とそれ以外のものとに大別できる。前述のように「×年×月×日文部省検定済△△用」ないしは「×年×月×日文部省検定済」などの記載のあるものが供給本である。そこで本稿では『東書目録』に注目し、東書文庫における当該教科書の所蔵の有無を調べた。後述のように所蔵されているとみられる教科書については一覧表の所蔵欄に○印を付けた。これらは、後述の一部の教科書を除くと供給本に該当する。

調査のおもな観点は、書名、著者ならびに検定年月日と教科書の種別である。すなわち、『東書目録』掲載の教科書のうち、一覧表において書名、著者が同じものを検索し、同時に、当該教科書の検定年月日と同じ日付の「×年×月×日文部省検定済」の記載があり、同様に教科書種別が明らかなものについてはそれが同じものを所蔵有りとした。

また、数は少ないが一覧表の教科書のうち無修正で検定認可されたものについては、『東書目録』において「×年×月×日文部省検定済△△用」などの記載がないとされていても、書名、著者、版次が同じであるものは申請本の内容と合格本や供給本のそれとに違いはないとみられるので、それらを同一書とみなし、所蔵有りとした^{*17)}。

ただし書名については断わりを付しておく。一覧表では、たとえば『〇〇改訂版』などという書名の教科書は、その「改訂版」などと記された書名のいわば小文字も記載した。これに対し『東書目録』では、一部の教科書についてそれが除かれているふしがある。著者、版次、検定年月日、教科書の種別がすべて同じであれば、書名の小文字がないものでも所蔵有りとした。

〔補註〕

* 1) 戦前わが国で用いられた「実業」という用語は、農業、鉱工業、水産、商業、運輸など、生産・流通の諸分野を総称していた^{*24)}。本稿でいう実業もこの「実業」の含意にならっている。

* 2) 周知のように、勅令、省令において「国定教科書」という用語が用いられていたわけではない。ちなみに、たとえば後述のように1943年の中等学校令においては、原則として「中等学校ニ於テハ文部省ニ於テ著作権ヲ有スル教科用図書ヲ使用スベシ」（第12条）と定められた。これに関して文部省は、同年3月12日の訓令第1号において、（新制）中等学校の「教科用

図書ハ国定ヲ原則トシタルコト」と解説している。敗戦後の暫定教科書をふくめた文部省著作教科書が「国定教科書」に該当するか否かについては議論がある²⁵⁾。

- * 3) 教科用図書検定条例には施行日につき別段の規定は設けられなかった。このため、1886年2月26日公布の公文式（勅令第1号）および1883年5月26日公布の布告布達到達日数（太政官布達第14号）にもとづき施行日を次のように算出した。公文式では「凡ソ法令ハ官報ヲ以テ布告シ官報各府県庁到達日数ノ後七日ヲ以テ施行ノ期限トナス」（第10条）とされ、官報各府県庁到達日数は太政官布達第14号によると定められた。布達第14号では、42府県につき個々に同日数が明記されており（即日から最大12日まで）、その平均日数は約6日である。本稿では、官報各府県庁到達日数を全国平均の6日とし、その後7日を経て教科用図書検定条例が施行されたとみなした。
- * 4) 1898年6月、いわゆる累積版と称される『図書表』がはじめて刊行され、同表において教科用図書検定条例が施行された1886年5月以後の小学校用検定教科書がまとめて掲載されることとなった。翌1899年6月には中学校、高等女学校、師範学校の累積版『図書表』も発行され、これにおいて1886年5月以後の当該学校の検定教科書もまとめて掲げられた。またこれらの累積版の刊行により、号数表示の形式で刊行されていた従来の『図書表』は廃止されたもようである²⁶⁾。なお、1898年の累積版『図書表』の「定価」と「発行者」欄の内容は1898年3月末現在、1899年の累積版『図書表』のそれらは1899年4月末現在で記されている。
- * 5) 原正敏は、1943年の中等学校令により、実業学校では「普通科は文部省編纂の教科書を、実業科目は実業教育振興中央会の検定教科書を使用することになった」とのべている²⁷⁾。誤解をまねくおそれがあるので実業科に関する指摘について補足しておくと、それは、同実業科の文部省編纂の教科書が発行されなかつことと、同実業科の検定教科書の編纂を実業教育振興中央会がいわば独占する状況にあったこととの結果である。1943年の中等学校令や同年の実業学校規程において、実業学校の実業科では実業教育振興中央会の検定教科書を使用すべしなどと定められていたわけではない。ちなみに原は、先の一文に続けて、同「実業科目の教科書は、実業教育振興会の編纂で実業教科書株式会社発行のもの以外にはなかつところから一種検定」とよばれたとのべている。
- * 6) たとえば、先の64種の教科書のなかには、実業教育振興中央会『工業概説』（1943年3月5日発行）がある。これは、工業学校の全学科の実業科に位置づけられた科目「工業概説」用の教科書であったとみられる。他方、同じく64種の一つにふくまれている同『産業概説』（1943年3月10日発行）は、「産業概説」などという名称の科目は制度上いずれの実業学校の実業科にも存在しなかつたため、書名からも同書の編纂・使用対象がわからない。
- * 7) 現存していないとみられている『図書表』は、1902年4月～1903年4月までに検定認可された小学校用教科書を掲載したもの、同様に1908年4月～1911年3月までと1921年4月～1922年3月までの小学校、師範学校、中学校、高等女学校用教科書掲載のもの、1939年4月～

1944年12月までの小学校、師範学校、中学校、高等女学校、実業学校、青年学校用教科書掲載のものである²⁸⁾。

- * 8) 『高等科工業 上』の発行と時期を重ねた1944年8月に、文部省著作の『高等科工業製図上』も発行された²⁹⁾。
- * 9) 1907年2月1日公布の公式令（勅令第6号）による。
- * 10) 1886年の尋常師範学校ノ学科及其程度第2条においては、「農業手工」の農業と手工のそれぞれにつき、別個に教育内容の概要が定められた。この規定にもとづくならば、それにより尋常師範学校において手工科が成立したとみることもできる。
なお、尋常師範学校の「農業手工」科ないしはその「手工」用の検定教科書は管見の限り一種も発行されていない——補註11参照——。このため、上の「農業手工」科を本稿の調査対象にふくめるか否かの問題は、手工科に関する調査結果に影響を及ぼすものではない。
- * 11) 本稿の調査対象にはふくまれないため一覧表には記していないが、上の1886年の訓令第7号においては計5冊の教科書が尋常師範学校「農業手工」科で採用すべきとされ、その一つに、当時編纂中の山田要吉訳『シェレー氏工場用具論』があげられている。これは、後年刊行されたシェレー著、山田要吉訳『師範学校 中学校 教科用書 工場用具論』（1887年7月27日、文部省編輯局から発行）、同『工場用具論 下巻』（1894年3月24日、大日本図書株式会社から発行）であるとみられる。
- * 12) 上のような「師範学校」の教科書採用に関する諸規定にくわえ、1897年の師範教育令によって、師範学校、高等師範学校、女子高等師範学校の教科書は「文部大臣之ヲ定ム」（第8条）とされた。
- * 13) 1895年1月29日の高等女学校規程（文部省令第1号）では、教科書制度に関する別段の規定は設けられなかった。同日の文部省による高等女学校規程の説明によると、これは高等女学校用として編著された教科書が少ないため、高等女学校については教科書を「適宜選択スルヲ得シタルナリ」とされている。1895年6月12日の文部省令第4号では、原則として「高等女学校ノ教科用図書ハ文部大臣ノ検定ヲ経タルモノタルヘシ」と定められた。
なお中村紀久二は、1895年の高等女学校規程によって「高等女学校が制度化されると、高等女学校教科書も検定制度下におかれ」たとのべ、高等女学校の検定制の成立を同高等女学校規程の公布にもとづくものと認識している³⁰⁾。これは、高等女学校制度成立についての誤解にもとづく誤りであろう。ちなみに、1895年の高等女学校規程公布以前の1894年9月27日には、奥好義著の『新編 中等唱歌』（1894年7月8日訂正再版）が高等女学校・尋常師範学校音楽科用教科書として検定認可されている。管見の限りでは同書ははじめての高等女学校用検定教科書であった。
- * 14) 国民学校令、同施行規則の施行以後においても文部省著作教科書がない教科（科目）については、当該の文部省著作教科書が発行されるまで検定教科書を使用していた。このことは後

述のような1943年4月1日以後の中学校、高等女学校、実業学校に関しても同様である。国民学校に限りのべておくと、たとえば前述の『高等科工業』や『高等科工業製図』が発行されるまでの実業科工業がそれに該当する。ちなみに、日本工業教育研究会による『標準工業大意』(同年8月5日修正三版発行)が1941年9月5日に「国民学校実業科」用書として検定認可されている。

- * 15) 1943年4月1日の文部省訓令第9号では、1943年師範教育令により師範学校の教科書を「国定トシタルコト」は、おもに「教育刷新ノ意圖ヲ具体化」するものであると説明されている。
- * 16) 『Ⅱ中等学校編』には東書文庫と国会図書館の所蔵教科書もふくまれている。
- * 17) 発行年月日も本稿で調べる所蔵の有無や、『図書表』などとの比較により東書文庫所蔵教科書が検定済の教科書か否かを識別する重要な観点の一つとなり得る。しかし『東書目録』記載の教科書発行日は年月日ではなく年のみなので、判別のおおまかなめやす程度にしかならない。

[引用註]

- 1) 検定教科書の類型に関する申請本、合格本、供給本などの用語とその含意は、中村紀久二「検定済教科用図書表 解題」『教科書研究資料文献』第3集の2、P.25-26、芳文閣、1986年、にもとづいている。なお、本稿の教科書制度や文部省『検定済教科用図書表』に関する叙述は中村の同論稿に負うところが大きい。
- 2) 原正敏「教育内容研究は敗戦から何を学んだか——技術教育の場合<その2>」『教育』No226、1968年9月号。
- 3) 中村紀久二編『教科書研究資料文献第三集 検定済教科用図書表一』芳文閣、1985年、『同 第四集 同 二』1985年、『同 第五集 同 三』1985年、『同 第六集 同 四』1985年、『同 第七集 同 五』1986年、『同 第八集 同 六』1986年、『同 第九集 同 七』1986年。
- 4) これについては、『官報』『文部時報』の現物ばかりでなく、同上『第三集』『第五集』『第六集』『第九集』に所収されている『官報』『文部時報』の検定教科書目録も参照した。
- 5) 佐々木享「技術科教育の目標と内容」『新版 技術科教育法』第3章、P.25、学文社、1991年、参照。
- 6) 島田喜知治『明治以降農業教科書総目録』岩手大学附属農場研究所、1975年。同『目録』は後述のような問題もあるが、明治初期の往来物から1970年代半ばまでの諸学校の農業「教科書」を数多く掲載している。
- 7) 三羽光彦・佐々木享「農業・工業」『文部省著作 戦後教科書 解説』大空社、1984年。大河内信夫「文部省著作高等小学校農業科用教科書の変遷」『静岡大学教育学部研究報告(教科教

育学編)』第22号、1991年。大河内「文部省著作『小学農業書』の内容構成と農業技術との関係について」『日本産業技術教育学会誌』第34巻第2号、1992年。など。

- 8) 後述する論稿以外の研究としては、原正敏「初等教育における技術教育の萌芽と挫折」日本科学技術史学会編『日本科学技術史体系』第9巻、教育(2)、第2章、1965年。原「普通教育における技術教育—精神主義の破綻」『同』第10巻、教育(3)、第2章、1966年。原「高等小学校および中学校の工業教育」国立教育研究所編『日本近代教育百年史 10 産業教育(2)』第2編第5章第2節、1973年。上里正男「導入期の手工教育理論」『日本産業技術教育学会誌』Vol.22 No. 2、1980年。隈部智雄「戦中、戦後初期の普通教育としての工業の教科書分析」『千葉大学教育学部紀要』第35巻第2部、1987年。など。
- 9) 原正敏「普通教育における技術教育—その変質と定着」、前掲『日本科学技術史体系』第9巻、第10章。森下一期・道家達将「大正・昭和初期に於ける手工教育の展開」『東京工業大学 人文論叢』No. 3、1977年。斎藤健次郎「戦前の手工教育」『教育学講座15 家庭生活と技術の教育』第IV章第1節、学習研究社、1979年。拙稿「1926年高等小学校教育改革における『女子手工科』の成立」『名古屋大学教育学部紀要—教育学科—』第39巻第1号、1992年。など。
- 10) 森下一期「明治中期における手工教授法に関する一考察」日本教育学会第46回大会発表資料、1987年。
- 11) 森下一期、同上稿のほか、近藤義美「わが国の手工・工作教育における学習指導法の変遷」『福岡教育大学紀要』第29巻、第4分冊、1979年。原正敏「技術教育と教育方法」『技術教育の方法と実践』明治図書、1983年。管生均「岡山秀吉の手工教育価値分析に関する一考察」『熊本大学教育学部紀要 人文科学』第33号、1984年。など。
- 12) 師範学校手工科のごく一部の教科書を概観したものとしては、山形寛『日本美術教育史』黎明書房、1967年。川村仁「手工科の再建」『講座 現代技術と教育 8 技術教育の歴史と展望』II-1-4、開隆堂、1975年。など。
- 13) 拙稿「都市部高等小学校における実業科工業の進展」『名古屋大学教育学部紀要—教育学科—』第38巻、1992年。
- 14) 三羽光彦・佐々木享、前掲論文、P.247-248。
- 15) 加設科目の含意については、森下一期「高等小学校における〔選択制〕に関する一考察」『名古屋大学教育学部紀要—教育学科—』第36巻、1990年、に詳しい。
- 16) たとえば中村紀久二、前掲「検定済教科用図書表 解題」、同『教科書の社会史』岩波新書、岩波書店、1992年。
- 17) 近代わが国の教科書制度に関する論策ではとりわけこの点は曖昧であるようにおもわれる。たとえば下村哲夫は、1886年の教科用図書検定条例により「小学校・師範学校・中学校の教科書について検定を行うことになったと概説しているのみで、「師範学校」の尋常と高等の区別を明記していない——下村「教科書検定」『新教育学大事典』第2巻、P.419、第一法規、1990

年。

- 18) 図書局長（松尾長造）「高等諸学校教科書認可規程実施の情況に就いて」『文部時報』第726号、P. 2、1941年6月1日。
- 19) 中村紀久二、前掲「検定済教科用図書表 解題」、P.14.
- 20) 原正敏「旧制中学における実業科」『千葉大学教育学部紀要』第35巻第2部、P.236-237、1987年。
- 21) 佐々木享「家庭科教育史の研究と論文作成の技法」名古屋大学教育学部技術教育学研究室編『技術教育学研究』第7号、P.38、1991年、参照。
- 22) 中村紀久二、前掲「検定済教科用図書表 解題」、P.25.
- 23) 同上、P.26、29.
- 24) 佐々木享「実業学校」『新教育学大事典』第3巻、P.452、第一法規、1990年。
- 25) 中村紀久二、前掲『教科書の社会史』、P.130、参照。
- 26) 中村紀久二、前掲「検定済教科用図書表 解題」、P.9-10.
- 27) 原正敏、前掲「教育内容研究は敗戦から何を学んだか——技術教育の場合<その2>」、P.109.
- 28) 中村紀久二、前掲「検定済教科用図書表 解題」、P.11-12 に掲載の第一表による。
- 29) これらの『高等科工業』『高等科工業製図』の教育内容編成の特徴については、隈部智雄、前掲論文に詳しい。
- 30) 中村紀久二、前掲「検定済教科用図書表 解題」、P. 2 .

検定教科書一覧表

III① : 師範学校商業科用および中学校商業科用教科書〔3種〕

IV① : 師範学校商業科(商業)用教科書〔4種〕

IV② : 中学校商業科(商業)用教科書〔46種〕

IV③ : 高等女学校商業科(商業)用教科書〔23種〕

IV④ : 師範学校・中学校商業科(商業)用教科書〔7種〕

IV⑤ : 中学校・高等女学校商業科(商業)用教科書〔2種〕

IV⑥ : 師範学校・中学校・高等女学校商業科(商業)用教科書〔1種〕

(1) 分類: ——〔 〕内はそれぞれの教科書総数

I① : 高等小学校手工科用教科書〔2種〕
 I② : 尋常小学校手工科教師用教科書〔1種〕
 I③ : 尋常小学校・高等学校用教科書〔3種〕
 I④ : 師範学校手工科用教科書〔11種〕
 II① : 高等小学校工業科用教科書〔1種〕
 II② : 高等小学校工業科児童用教科書〔5種〕
 III① : 小学校商業科用教科書〔2種〕
 III② : 高等小学校商業科用教科書〔5種〕
 III③ : 高等小学校商業科児童用教科書〔237種〕
 III④ : 高等小学校商業科児童用および師範学校英語科・中学校外国语科用教科書〔1種〕
 III⑤ : 高等小学校商業科用教科書〔2種〕
 女学校外国语科用教科書〔2種〕

III⑥ : 高等小学校商業科児童用および高等女学校商業科用教科書〔2種〕

III⑦ : 高等小学校商業科教師用教科書〔1種〕

III⑧ : 師範学校商業科用教科書〔2種〕

III⑨ : 尋常中学校商業科用教科書〔1種〕

III⑩ : 師範学校商業科用・数学科用教科書〔1種〕

凡例

(1) 分類: ——〔 〕内はそれぞれの教科書総数

I① : 高等小学校手工科用教科書〔2種〕

I② : 尋常小学校手工科教師用教科書〔1種〕

I③ : 尋常小学校・高等学校用教科書〔3種〕

I④ : 師範学校手工科用教科書〔11種〕

II① : 高等小学校工業科用教科書〔1種〕

II② : 高等小学校工業科児童用教科書〔5種〕

III① : 小学校商業科用教科書〔2種〕

III② : 高等小学校商業科用教科書〔5種〕

III③ : 高等小学校商業科児童用教科書〔237種〕

III④ : 高等小学校商業科児童用および師範学校英語科・中学校外国语科・高等学校用教科書〔1種〕

III⑤ : 高等小学校商業科用教科書〔2種〕

女学校外国语科用教科書〔2種〕

III⑥ : 高等小学校商業科児童用および高等女学校商業科用教科書〔2種〕

III⑦ : 高等小学校商業科教師用教科書〔1種〕

III⑧ : 師範学校商業科用教科書〔2種〕

III⑨ : 尋常中学校商業科用教科書〔1種〕

III⑩ : 師範学校商業科用・数学科用教科書〔1種〕

IV① : 師範学校商業科(商業)用教科書〔4種〕

IV② : 中学校商業科(商業)用教科書〔46種〕

IV③ : 高等女学校商業科(商業)用教科書〔23種〕

IV④ : 師範学校・中学校商業科(商業)用教科書〔7種〕

IV⑤ : 中学校・高等女学校商業科(商業)用教科書〔2種〕

IV⑥ : 師範学校・中学校・高等女学校商業科(商業)用教科書〔1種〕

(2) 定価: 当該教科書の各巻冊ごとのもの。単位は錢。各〇〇とあるものはそれぞれの巻冊の定価が〇〇錢。巻冊が全2冊以上の教科書で各巻冊の定価が△△△とした。

(3) 臨時定価: 当該教科書の各巻冊ごとのもの。単位は錢。記載方法は前項(2)の定価と同じ。価格前に付けた「(〇〇)」は、当該臨時定価が採用されたときに付した。たとえば上巻、下巻からなる教科書で上巻が××錢、下巻が△△△錢、△△とした。

(4) ○印: 東書文庫所蔵教科書。一覧表の発行年、刷次と『東書目録』のそれらが違うもの、また書名が一部異なっているなどの教科書については、○印の横に備考番号(アルファベット文字)を付し、後ろに註記した。

(5) ▲印: 書名のみからでは実業科商業用であるのか実業科農業用であるのかなどを判断できない教科書。

(6) △印: 「図書表」に掲載されながら、「官報」と「文部時報」には掲載されていないとみられる教科書。

手工手科

分類	書名	卷冊	発行年月日	検定年月日	著者	出版者	定価	臨時定価	備考	所蔵
1 1① 小学校用 手工手科	第一、第二、第三：全3冊	第一：1887年12月28日訂正再版 第二：1887年9月 第三：1887年9月	1888年1月16日	1888年1月7日	岡山秀吉	奥文社	各16	石川活三	※ 1 ○	
2 “ 実業教育 手工教授書	上、下：全2冊	1888年8月29日訂正再版	1888年9月18日	岡山秀吉	奥文社	各16	石川活三			
3 1② 手工教材及教授法	全1冊	1909年6月10日	1909年12月11日	岡山秀吉	大槻久吉、吉岡平助	60	大槻久吉、吉岡平助			
4 1③ 手工編	全1冊	1892年6月8日	1893年8月23日	永江正直	小林義則	40	小林義則			○
5 “ 小学校用 手工教科書	全1冊	1905年1月28日訂正再版	1905年8月14日	高野一郎	鹿島長次郎	30	鹿島長次郎			
6 “ 小学校における手工教授の理	全1冊	1908年5月28日	1908年11月2日	岡山秀吉	大槻久吉、吉岡平助	120	大槻久吉、吉岡平助			
7 1④ 師範教育 手工教科書	全1冊	1907年10月9日	1908年4月27日	岡山秀吉	金港堂書籍	85	金港堂書籍			
8 “ 師範学校 手工教科書	前編、後編：全2冊	1908年12月28日	1909年2月20日	上原六四郎、岡山秀吉	岩井清太郎	75,85	岩井清太郎			○
9 “ 師範学校女子用 手工教科書	一、二、三、四：	1923年1月12日再版	1923年1月22日	山形寛	大賀闇	21,29,	大賀闇			27,17
	全4冊									

手 工 科

分類	書名	卷冊	発行年月日	検定年月日	著者	発行者	定価	臨時定価	備考	所蔵
10 I ① 改訂簡補 手工科教材及教授法 全1冊		1927年 3月20日訂正再版	1927年 3月25日	岡山秀吉	天葉久吉	90	'27)153			
11 " 新手工教科書	上, 下: 全2冊	1928年 2月 5日訂正再版	1928年 2月 9日	岡山秀吉 阿部七五三	山本慶治	99, 110	'28)164,			
12 " 改訂 新手工教科書	上, 下: 全2冊	1933年 1月28日改訂四版	1933年 2月 6日	岡山秀吉 阿部七五三	山本慶治	135,	182		※ 2	
13 " 女子師範学校 手工教科書	上, 下: 全2冊	1934年 2月18日訂正再版	1934年 2月27日	岡山秀吉 阿部七五三	山本慶治	137,				
14 " 師範学校二部用 手工教科書	全1冊	1938年 2月28日訂正再版	1938年 3月 4日	阿部七五三 吉, 松原郁二	山形寛 山本慶治	155				
15 " 師範学校二部用 新手工教科書	全1冊	1942年 2月25日訂正三版	1942年 3月14日	阿部七五三 吉, 松原郁二	山形寛 山本慶治	155				
16 " 女子師範学校手工教科書	上, 下: 全2冊	1942年 4月10日訂正三版	1942年 5月15日	岡山秀吉 阿部七五三	山本慶治	136,				
17 " 改訂 新手工教科書	上, 下: 全2冊	1942年 4月25日改訂五版	1942年 5月30日	岡山秀吉 阿部七五三	山本慶治	135,				
				吉, 伊藤信一郎		141				

工 業 科

分類	書名	卷冊	発行年月日	検定年月日	著者	発行者	定価	臨時定価	備考	所蔵
1 II ① 手工教科書	上, 下: 全2冊	上: 1888年 5月29日 下: 1888年 6月15日校正	1888年 6月21日	平賀義美		原亮三郎	各35		※ 3 ○	
2 II ② 改訂 工業教本	全2冊	1934年 8月20日訂正二版	1934年 9月13日	津田信良	辻村良輔	各38				
3 " 工業大意	全1冊	1936年 1月23日修正	1936年 1月29日	大阪市小学校教育研究会	会工業部委員会	45				
4 " 標準 工業大意	全1冊	1938年10月20日修正再版	1938年10月27日	日本工業教育研究会	山本慶治	50		※ 4		
5 " 工業大意	全1冊	1939年 3月 7日修正第四版	1939年 8月10日	大阪市小学校教育研究会	山本慶治	55				
6 " 實踐 工業教本	全2冊	1940年 2月17日訂正再版	1940年 2月23日	金井英明	金井基祐	各35				

商業科系

分類	書名	卷冊	発行年月日	検定年月日	著者	発行者	定価	臨時定価	備考	所蔵
I ① 初字商業書	前編 後編：全2冊	1888年7月6日訂正	1888年7月10日	三原國二郎	中島清一	各35				○ a
2 " 小学校用 商業書	第一、第二、第三：全3冊	1888年10月8日訂正再版	1888年10月10日	松田好生	辻敬之	各54				
3 III ② 商業小字	上、下：全2冊	1882年3月28日	1887年8月14日	片山平三郎	片山平三郎	各35				
4 " 小学商業書	全2冊	全：1884年7月31日訂正六刻 二編：1883年7月5日	1887年11月8日	塙原吉園	原田左衛門	各30				
5 " 小学商業編	上、下：全2冊	1884年2月20日訂正	1888年3月2日	坪井仙三郎	井上勤兵衛	各30				○
6 " 小学商業書	2編：全1冊	1884年8月21日訂正再版	1888年9月5日	塙原吉園	原田左衛門	各15				
7 " 小学商業教科書	全3冊	1912年3月20日訂正第三版	1912年3月30日	稻葉彌次	稻葉彌次	各25				
8 III ③ 商業新書	卷之上、卷之下：	1894年2月15日訂正再版	1894年3月1日	山本邦之助	小林八郎	各46.8				○
9 " 初等 商業教科書	全2冊	卷一、卷二、卷三，1903年10月15日訂正再版	1903年10月24日	切田太郎	普及舎	22.25.				
10 " 初等商業教本	前編 後編：全2冊	1903年12月3日訂正再版	1903年12月8日	切田太郎	鹿島長次郎	28.28				
11 " 初等商業書	卷一、卷二：全2冊	1903年12月14日訂正再版	1903年12月22日	助川純吉	梅戸直吉	15.17				
12 " 小学 商業教科書	全2冊	1903年12月25日訂正再版	1903年12月26日	和田恒謙三	小林泰則	各22				○ b
13 " 小学 商業教科書	全2冊	1903年12月25日訂正再版	1903年12月26日	和田恒謙三	辻本末吉	各20				
14 " 初字 商業教科書	全2冊	1904年6月21日訂正三版	1904年7月28日	井出力之助	井出力之助	各22				○ c
15 " 小学商事要項	全2冊	1905年5月20日訂正再版	1905年7月29日	福岡県教育会	辻本卯哉、森岡榮	各20				
16 " 高等小学 商業書	全2冊	1905年8月28日訂正再版	1905年9月13日	鹿野清次郎、星野太郎	大倉保五郎	各25				
17 " 初等 商業教科書	全2冊	1905年10月15日訂正再版	1905年1月28日	川澄泰	鈴木麗次郎、鈴木常松	各15				
18 " 初学 商業教科書	全2冊	1906年3月16日訂正七版	1906年3月27日	井出力之助	井出力之助	各22				
19 " 最新 簡易商業教科書	卷一、卷二，附表卷一、附表卷二 ：全4冊	1907年10月28日訂正四版	1907年11月26日	切田太郎、森富次郎	田山宗堯	12.12.				
20 " 小学商業教科書	上巻、下巻：全2冊	1907年3月29日訂正再版	1907年4月4日	蜂谷健吉、安田綱太郎	吉岡平助	各25				○ d
21 " 訂正 初等商業書	全2冊	1907年1月8日訂正四版	1907年2月6日	池本純吉	神戸直吉	各20	※ 6			
22 " 高等小学 商業書	全2冊	1908年1月30日訂正七版	1908年2月10日	鹿野清次郎、星野太郎	大倉保五郎	各25	※ 7	○ e		
23 " 最新 初等商業教科書	上、下、続：全3冊	1908年4月30日訂正再版	1908年5月4日	泉屋清次郎、松本喜一	渡辺音造	20.25.				
24 " 新編 商業教科書	全2冊	1909年2月1日訂正再版	1909年2月20日	安田綱太郎、蜂谷健吉	大桑久吉、吉岡平助	各20				
25 " 新体 小字商業書	全2冊	1910年4月27日訂正再版	1910年5月11日	安田綱太郎、蜂谷健吉	大桑久吉、吉岡平助	各25				
26 " 高等小学 商業書	全2冊	1910年5月10日訂正十三版	1910年5月27日	星野太郎、古館市太郎	大倉保五郎	各25				○ f
27 " 初等 商業教書	卷一、卷二，記帳法 例題：全3冊	1911年5月7日訂正再版	1911年5月16日	吉岡平助	吉岡平助	15	※ 8			

商業系科系

分類	書名	卷冊	発行年月日	検定年月日	著者	発行者	定価	臨時定価	備考	所蔵
28 ③ 商業新教科書	卷一、卷二：全2冊	1912年11月21日訂正再版	1912年12月10日	平井保藏	杉本光治	23.25				○ 6
29 " 商業簿記法	全1冊	1912年12月1日訂正再版	1912年12月19日	商業研究会	小林竹道	18				
30 " 高等小学 商業教科書	全2冊	1913年1月10日訂正再版	1913年2月18日	武田英一	大桑久吉，吉岡平助	各25				
31 " 小学 商業教科書	卷一、卷二、記帳法：全3冊	1913年1月7日訂正再版	1913年3月18日	古館市太郎	大桑久吉，吉岡平助	25, 25, 15				
32 " 高等小学 商業教科書	全3冊	1913年4月25日訂正再版	1913年5月8日	静岡県教育協会	六盤館，吉見義次	各20				
33 " 新編 商業教科書	全2冊	1913年10月5日訂正再版	1913年11月7日	切田太郎，森富次郎	田山宗堯	各25				
34 " 高等小学 商業教科書	全3冊	1913年12月13日訂正	1913年12月15日	六盤館	六盤館	各20				
35 " 初等 商業教科書	全2冊	1913年12月13日修正再版	1913年12月16日	泉屋清次郎，森富次郎	同文館	各25				
36 " 大正 商業教科書	全2冊	1914年1月1日訂正第九版	1914年1月9日	井出力之助	井出力之助	各25	※ 9			
37 " 実践商業教科書	全2冊	1914年1月24日訂正再版	1914年1月27日	上田貞次郎，佐藤仁寿	富山房	各26	※ 10			
38 " 実践簿記教科書	前編：全2冊	1914年2月18日訂正再版	1914年2月24日	佐藤仁寿	富山房	15.17				
39 " 初等 商業教科書	上、下、記帳及取引	1914年11月5日訂正再版	1914年11月10日	坂本陶一	大桑久吉	25, 25,				
40 " 最新 小学商業簿記教科本	全1冊	1915年1月18日訂正再版	1915年1月30日	星野太郎，稻葉鶴次	辻本卯吉	20				
41 " 最新小学商業教科本	全2冊	1915年1月18日訂正再版	1915年2月3日	星野太郎，稻葉鶴次	辻本卯吉	各25				
42 " 訂正 小学商業教科書	上、下、記帳法：	1915年2月1日改訂五版	1915年2月3日	蜂谷健吉，安田飼太郎	柏佐一郎	25, 25,				
43 " 初等 商業教科書	卷一、卷二、記帳法：全3冊	1915年12月27日訂正四版	1916年1月10日	古館市太郎	大桑久吉	25, 25,	※ 11			
44 " 初等 実践商業教科書	全2冊	1916年1月25日訂正再版	1916年1月29日	上田貞次郎，佐藤仁寿	富山房	各25				
45 " 初等教育 商業簿記提要	全1冊	1916年3月16日訂正再版	1916年3月17日	田村武三郎	松岡善太郎	25				
46 " Kaiseikwan's Natural Slant Penmanship	全5冊	1915年10月22日	1916年9月21日	西野虎吉	西野虎吉	10				
47 " 初等 実践簿記教科書	全2冊	1917年1月18日訂正再版	1917年2月7日	佐藤仁寿	富山房	各16				
48 " 新編 商業教科書	一、二、簿記編：	1917年3月30日訂正	1917年3月31日	大阪府教育会	六盤館	25, 28,				
49 " 初等 商業教科書	全2冊	1917年3月28日修正四版	1917年4月12日	泉屋清次郎，森富次郎	同文館	各28	※ 12			
50 " New Century Penmanship	全7冊	1917年7月10日訂正六版	1917年9月12日	西野虎吉	西野虎吉	各11	※ 13			
51 " 初等 商業教科書	上、下、記帳法及取引	1918年1月10日訂正四版	1918年1月28日	坂本陶一	大桑久吉	28, 28,	※ 14			
52 " 新定 商業教科書	一、二、簿記編：	1919年8月2日訂正	1919年8月11日	広島県教育会	六盤館	25, 28, '20) 43, 48,				
	全3冊					20 34				
53 " 初等 商業教科書	全2冊	1920年2月10日修正八版	1920年3月19日	泉屋清次郎，森富次郎	同文館	各28	'20) 各48	※ 15		
54 " 改訂 実践商業教科書	前編：全2冊	1920年3月31日訂正四版	1920年5月10日	上田貞次郎，佐藤仁寿	富山房	各24	'21) 各53	※ 16		
55 " 大正 商業教科書	全2冊	1921年5月23日訂正十一版	1921年9月27日	井出力之助	井出力之助	各25	'21) 各42	※ 17		
56 " 新編 商事要項教科書	上、下：全2冊	1922年1月10日訂正再版	1922年2月17日	上村熊造	土戸伊三郎	33, 31	'22) 63, 59			
57 " 初等 商業教科書	上、下：全2冊	1922年2月13日修正十版	1922年3月20日	泉屋清次郎，森富次郎	同文館	各31	'22) 各58			

商業科系

分類	新編 III	商業教科書	卷冊	発行年月日	検定年月日	著者	発行者	定価	臨時定価	備考	所蔵
58	"	新編 商業教科書 全3冊	一, 二, 海記編 : 1922年 6月23日訂正	1922年 6月27日	大阪府教育会	六盟館 吉見義質	25, 25, 20	'24) 45, 45, 36			
59	"	高等小学 商業教科書 全3冊	1922年 7月 3日訂正	1922年 7月 8日	静岡県教育会	六盟館	各21	'24) 38			
60	"	商業教科書	一, 二: 全2冊	1922年 7月25日修正	1922年 8月 5日	神奈川県教育会	教科書販売所	35, 43			
61	"	新編 商業簿記教科書 全1冊	1923年 1月15日訂正再版	1923年 1月27日	上村熊雄	土井伊三郎	28				
62	"	最新商業簿記 改訂案	上, 下: 全2冊	1923年 1月17日訂正再版	1923年 1月29日	竹田正巳	佐々木泰	14, 18			
63	"	最新商業簿記教科書 前, 後: 全2冊	1923年 1月22日改訂四版	1923年 1月29日	佐藤仁寿	富山房	20, 21	'24) 36, 38	※18		
64	"	最新商業教科書 上, 下: 全2冊	1923年 1月13日訂正再版	1923年 1月31日	橋間龜楠	橋間龜楠	29, 33	'24) 45, 50			
65	"	新式実践 商業書 全3冊	上, 下: 海記編 : 1923年 1月15日訂正再版	1923年 2月17日	下河内十二歳,	弘道館	32, 30,	'24) 58, 54,			
66	"	最新簿記教科書 上, 下: 全2冊	1924年 3月10日訂正三版	1924年 3月18日	生駒義清	20	36				
67	"	改訂 商業教科書 全3冊	一, 二, 海記編 : 1924年 6月24日訂正	1924年 7月 3日	広島県教育会	六盟館	14, 17 26, 26,	'24) 25, 30 '25) 47, 47,			
68	"	商業教科本 上, 下: 全2冊	1925年 1月18日訂正再版	1925年 2月 3日	武田英一	荒木栄作	20	36			
69	"	最近 初等商業教科書 全3冊	上, 下, 海記編 : 1925年 3月11日訂正再版	1925年 3月20日	坂本陶一	大槻久吉	35, 35, 18	'25) 63, 63, 32			
70	"	修正 初等案媛商業教科書 全2冊	1925年 3月20日修正四版	1925年 3月26日	上田寅次郎, 佐藤仁寿	富山房	各32	'25) 各58	※19		
71	"	商業教科書 全3冊	上, 下, 記帳法 : 1925年 9月 5日訂正再版	1925年 9月 9日	国松靈	大槻久吉	30, 43.	'26) 51, 73,			
72	"	簿記教科本 全1冊	1926年 2月 9日訂正再版	1926年 2月25日	太田哲三	鈴木德三郎	14, 18	'26) 24, 31			
73	"	新編 簿記教科書 全1冊	1927年 1月13日訂正再版	1927年 1月21日	佐藤仁寿	富山房	22	'27) 37			
74	"	最新 商業簿記教科書 上, 下: 全2冊	1927年 2月 4日訂正再版	1927年 2月12日	松村明敏	石田臺一	13, 16	'27) 22, 25			
75	"	新制 商業教科書 上, 下: 全2冊	1927年 2月15日訂正五版	1927年 2月25日	星野太郎, 田中満三	辻村良輔	27, 30	'27) 45, 50			
76	"	最新 商業教科書 上, 下: 全2冊	1927年 3月10日修正再版	1927年 3月23日	内池廉吉, 寺本太十郎	同文社	39, 48	'27) 66, 82			
77	"	商学教科書 全1冊	1927年 4月 8日訂正再版	1927年 4月12日	上村熊雄	上村熊雄	各31	'28) 各50			
78	"	簿記教科書 上, 下: 全2冊	1927年 4月 8日訂正再版	1927年 4月20日	上村熊雄	上村熊雄	30	'28) 50			
79	"	最新 簿記階梯 上, 下: 全2冊	1927年 3月22日訂正再版	1927年 4月21日	市川友三郎	木村五郎治	17, 20	'28) 28, 33			
80	"	初等 簿記教科書 上, 下: 全2冊	1927年 9月27日	1928年 1月20日	中田彦	宮部萬三郎	15, 18	'28) 25, 30			
81	"	改正 商業教科本 上, 下: 全2冊	1928年 2月23日修正再版	1928年 3月 3日	武田英一	鈴木應三郎	33, 42	'28) 各55			
82	"	大正 商業教科書 一, 二: 全2冊	1928年 2月29日訂正十三版	1928年 3月15日	井出力之助	井出力之助	各25	'28) 各42	※20		
83	"	改訂 簿記教科本 上, 下: 全2冊	1928年 3月16日修正再版	1928年 3月28日	太田哲三	鈴木德三郎	各19	'28) 各32			
84	"	高等小学 商業大意教科書 女用	上, 下: 全2冊	1928年 3月28日訂正再版	1928年 3月29日	古川千里	并手群治	各31	'28) 各48		
85	"	高等小学 商業大意教科書 男用	上, 下: 全2冊	1928年 3月28日訂正再版	1928年 3月29日	古川千里	并手群治	28, 20	'28) 43, 33		
86	"	高等小学 簿記教科書 女児用	上, 下: 全2冊	1928年 3月28日訂正再版	1928年 3月29日	山本芳季	并手群治	14, 25	'28) 23, 40		
87	"	高等小学 簿記教科書 全3冊	上, 下: 全2冊	1928年 3月28日訂正再版	1928年 4月 9日	山本芳季	并手群治	17, 23	'29) 27, 37		
88	"	新訂 商業教科書 全3冊	一, 二, 海記編 : 1928年12月23日訂正	1929年 1月 9日	大阪府教育会	六盟館	23, 23,	'29) 38, 38,			

商業科系

分類	書名	発行年月日	検定年月日	著者	発行者	臨時定価	定期	備考	所蔵
89 Ⅲ③ 商業教科書 女児用	全1冊	1929年 1月 8日訂正再版	1929年 1月16日	上田貞次郎、佐藤仁寿	富山房	32	29)53		
90 " 商業教科書 男児用	前、後：全2冊	1928年12月13日訂正再版	1929年 1月29日	上田貞次郎、佐藤仁寿	富山房	31,36	29)52,60		
91 " 等記教科書	一、二：全2冊	1929年 1月21日訂正	1929年 1月29日	静岡県教育会	六盤館、吉見義質	9,13	29)15,22	○	
92 " 商業教科書	二、二：全2冊	1929年 1月21日訂正	1929年 1月29日	静岡県教育会	六盤館、吉見義質	24,29	29)40,48		
93 " 新制簿記教本	上、下：全2冊	1929年 1月15日訂正第二版	1929年 2月 5日	村瀬玄	辻村良輔	16,18	29)26,29		
94 " 新制女子商業教本	上、下：全2冊	1929年 1月29日訂正第三版	1929年 2月 7日	増地廣治郎	辻村良輔	34,30	29)44,42		
95 " 新制商業教本	上、下：全2冊	1929年 1月29日訂正第二版	1929年 2月19日	増地廣治郎	辻村良輔	36,38	29)46,48		
96 " 初等商業教科書	上、下：全2冊	1929年 2月15日訂正再版	1929年 2月21日	古館市太郎	大槻久吉	31,32	29)52,53		
97 " 新制商業教科書	上、下、記帳法及取引例題：全3冊	1929年 2月15日訂正再版	1929年 2月22日	美文館編集所	大槻久吉	32,31	29)53,52.		
98 " 最新商業教科書 三訂版	全2冊	1929年 2月 5日訂正六版	1929年 2月23日	楠間龜橋	楠間龜橋	27	45		
99 " 最新女子商業教本	上、下：全2冊	1929年 2月 5日訂正再版	1929年 2月26日	楠間龜橋	楠間龜橋	35,30	29)各40		
100 " 最新海記教科書 改訂版	上、下：全2冊	1929年 2月 5日訂正四版	1929年 2月26日	楠間龜橋	楠間龜橋	17,22	29)25,30	※22	○ h
101 " 商業新教科書 女児用	全1冊	1929年 2月25日訂正再版	1929年 3月 1日	高松動、住登勝哉	松邑孫吉	35	29)58		
102 " 新制商業教科書	上、下：全2冊	1929年 3月 3日訂正再版	1929年 3月 8日	松村明敏	石田嘉一	37,40	29)55,60		
103 " 商業教科書	上、下：全2冊	1929年 3月 3日訂正再版	1929年 3月 8日	神奈川県教育会	石田嘉一	37,40	29)55,60	○ i	
104 " 最新商業簿記教科書	上、下：全2冊	1929年 3月 5日訂正四版	1929年 3月18日	松村明敏	石田嘉一	14,22	29)23,35	※23	
105 " 新制簿記教科書	上、下：全2冊	1929年 3月 8日訂正再版	1929年 5月10日	唯野真琴	木源德	14,19	30)23,31		
106 " 初等簿記教科書	上、下：全2冊	1929年 7月 5日訂正再版	1929年 7月17日	古館市太郎	大槻久吉	13,21	30)21,34		
107 " 新選商業教科書	上、下：全2冊	1929年10月23日訂正再版	1929年11月 5日	水口音三郎	土官伊三郎	39,45	30)50,55		
108 " 初等教育 商業教科書 女子用	上、下：全2冊	1929年11月10日訂正再版	1929年12月 3日	湯川征吉	目黒甚七	32,26	30)52,42		
109 " 簡易簿記教科書	全1冊	1929年 9月30日	1929年12月 6日	石川文吾	金港堂書籍	35	30)57		
110 " 簡易商業教科書	上、下：全2冊	1929年12月21日訂正再版	1930年 1月10日	石川文吾	金港堂書籍	49,46	30)80,75		
111 " 初等教育 商業教本 女児用	全1冊	1929年12月13日修正再版	1930年 1月10日	深木憲三郎	各30	30)各38			
112 " 等記新教科書	男児用	1929年12月26日訂正再版	1930年 1月14日	佐藤仁寿	富山房	20	30)33		
113 " 簡記新教科書	男児用	1929年12月26日訂正再版	1930年 1月16日	佐藤仁寿	富山房	20	24	30)33,39	
114 " 初等教育 商業教科書	上、下：全2冊	1929年12月18日訂正再版	1930年 1月17日	湯川征吉	目黒甚七	36,42	30)50,60		
115 " 新選 商業教科書	上、下：全2冊	1930年 1月 7日改訂	1930年 1月21日	美濃教育会	信太秀之助	27,30	30)43,48		
116 " 女子 商業大意教科書	上、下：全2冊	1930年 1月10日修正再版	1930年 1月21日	商業教育研究会	石田嘉一	28,17	30)38,25		
117 " 高等小学 商業大意教科書	上、下：全2冊	1930年 1月14日訂正	1930年 3月13日	山口赳夫	帝國書院	各22	30)各30		
118 " 商業新教科書 男児用	上、下：全2冊	1930年 3月20日訂正再版	1930年 3月31日	高松動、住登勝哉	松邑孫吉	28,32	30)45,52		
119 " 簡記新教科書 女児用	全1冊	1930年 3月20日訂正再版	1930年 3月31日	高松動、住登勝哉	松邑孫吉	18	30)29		
120 " 新編女子商業簿記教科書	全1冊	1930年 3月25日訂正再版	1930年 4月 5日	福田誠	井手繁治	26	31)40		
121 " 高等小学 商業簿記教科書	上、下：全2冊	1930年 5月 5日訂正	1930年 5月31日	武田靜雄	帝國書院	各22	'31)各35		
122 " 新制簿記 男児用	上、下：全2冊	1930年 6月 1日訂正再版	1930年 6月 6日	教育書館編集部	武田清三	14,20			
123 " 商業簿記教科書	上、下：全2冊	1930年 3月 8日修正再版	1930年 8月27日	商業教育研究会	石田嘉一	14,20	'31)20,28	○ j	
124 " 新簿記教科書	上、下：全2冊	1930年 9月25日訂正再版	1930年10月10日	松本豊一	東洋図書	20,23	'31)31,35		
125 " 初等商業教本	上、下：全2冊	1930年 8月15日	1930年11月23日	石川文吾	金港堂書籍	各40	'31)各43	△	

商業科系

分類	書名	卷冊	發行年月日	檢定年月日	著者	発行者	定価	臨時定價	備考	所藏
126 重③ 著 新商業教科書	上, 下 : 全2冊	1930年11月19日訂正再版	1930年12月4日	武田正巳	武田正巳	27, 29	'31) 42, 45			
127 " 新制 商業教科書 改訂版	上, 下, 記帳版 : 全3冊	1930年12月10日訂正四版	1930年12月13日	美文館編集所	大葉久吉	31, 32,	'31) 51, 49,	※24		
128 " 商業教科書	上, 下 : 全2冊	1930年12月15日修正再版	1930年12月26日	商業教育研究会	石田嘉一	各33	'31) 各45			
129 " 初等教育 商業記教科書 女子用	全1冊	1930年12月22日訂正再版	1930年12月26日	深見義一	鈴木源徳	各30	'31) 各37			
130 " 新制 薄記教科書 女子用	上, 下 : 全2冊	1930年12月18日修正四版	1930年12月27日	唯野真琴	鈴木一郎	各28	'31) 各37			
131 " 初等 商事要項	上, 下 : 全2冊	1930年12月24日修正再版	1931年1月9日	武田英一	大葉久吉	31, 32	'31) 49, 51	※25		
132 " 初等 薄記教科書 再訂版	上, 下 : 全2冊	1930年12月25日再訂四版	1931年1月15日	古館市太郎	星野太郎	各30	'31) 各38	○ k		
133 " 高等小学校業簿	上, 下 : 全2冊	1931年1月10日訂正再版	1931年1月15日	田中満三	金井圭祐	目黒十郎	16, 29	'31) 24, 43		
134 " 新薄記教科書	上, 下 : 全2冊	1931年1月11日訂正再版	1931年1月20日	新潟県教育会	大正洋行	24, 26	'31) 35, 38			
135 " 実践 新商業教科書	上, 下 : 全2冊	1931年1月25日修正第二版	1931年1月31日	森富次郎, 折本安男	小林圓	鈴木源徳	26, 28	'31) 40, 42	○ 1	
136 " 新制 商業教科書	上, 下 : 全2冊	1931年1月30日訂正再版	1931年2月5日	鈴木源徳	松井一司	13, 16	'31) 20, 25			
137 " 新制 商業簿記教科書	上, 下 : 全2冊	1931年1月20日訂正再版	1931年2月14日	横浜市小学校商業調査部会	鈴木源徳	13, 16	'31) 20, 25			
138 " 新制 商業簿本	上, 下 : 全2冊	1931年2月13日訂正第二版	1931年2月18日	越地慶治郎	辻村良輔	各24	'31) 各35			
139 " 新制簿記教科書	上, 下 : 全2冊	1931年2月16日訂正再版	1931年2月20日	小野澤義勝	井手琴治	16, 20	'31) 25, 31			
140 " 新選商業教科書	上, 下 : 全2冊	1931年2月23日訂正六版	1931年2月26日	水口音三郎	土戸伊三郎	30, 35	'31) 40, 45	※26		
141 " 海記新教科書 男児用	上, 下 : 全2冊	1931年3月5日訂正再版	1931年3月10日	高松勤	佳登勝蔵	松島孫吉	19, 16	'31) 30, 25		
142 " 薄記女子商業教科書	上, 下 : 全2冊	1931年3月10日訂正再版	1931年3月18日	福田盛	并手琴治	26, 22	'31) 37, 31			
143 " 統制商業教科書	上, 下 : 全2冊	1931年3月15日訂正再版	1931年3月24日	東京実業社	東京実業社	31, 29	'31) 43, 41			
144 " 新商業教科書	上, 下 : 全2冊	1931年4月23日訂正第二版	1931年4月28日	新潟県教育会	目黒十郎	48, 52				
145 " 新制 女子商業簿本	全1冊	1931年4月28日訂正第二版	1931年5月15日	増地廣治郎	辻村良輔	30				
146 " 商業新教科書 男児用	上, 下 : 全2冊	1931年11月30日改訂再版	1931年12月9日	上田貞次郎, 佐藤仁寿	富山房	36, 38				
147 " 改訂 商業新教科書 女児用	全1冊	1931年11月30日訂正再版	1931年12月9日	上田貞次郎, 佐藤仁寿	富山房	37				
148 " 商業教科書	上, 下 : 全2冊	1931年12月14日修正再版	1931年12月19日	商業教育研究会	石田嘉一	各40				
149 " 商業教科書	上, 下 : 全2冊	1931年12月14日修正再版	1931年12月19日	商業教育研究会	石田嘉一	各40				
150 " 商業教科書	上, 下 : 全2冊	1931年12月14日修正再版	1931年12月19日	商業教育研究会	石田嘉一	各40				
151 " 商業簿記教科書	上, 下 : 全2冊	1931年12月14日修正再版	1932年1月9日	商業教育研究会	石田嘉一	20, 28				
152 " 商業簿記教科書	上, 下 : 全2冊	1931年12月28日修正再版	1932年1月9日	商業教育研究会	石田嘉一	20, 28				
153 " 商業簿記教科書	上, 下 : 全2冊	1931年12月28日修正再版	1932年1月9日	商業教育研究会	石田嘉一	20, 28				
154 " 女子 商業教科書	上, 下 : 全2冊	1932年1月22日訂正再版	1932年1月28日	田中満三	金井圭祐	各30				
155 " 岡島県商業教科書 男用	上, 下 : 全2冊	1932年1月26日修正再版	1932年2月4日	広島県教育会	鈴木一郎	各37				
156 " 新商業教科書	上, 下 : 全2冊	1932年2月2日訂正再版	1932年2月4日	森富次郎	東洋圖書	64, 63				
157 " 女子 新商業教科書	全1冊	1932年1月31日修正第二版	1932年2月5日	折本安男, 大正洋行	繁田利男	35				
158 " 新制簿記教科書	上, 下 : 全2冊	1932年2月8日訂正再版	1932年2月13日	後藤一郎	金井圭祐	19, 24				
159 " 薄記教科書	上, 下 : 全2冊	1932年2月1日修正二版	1932年2月15日	森富次郎, 折本安男	大正洋行	各18				
160 " 最新 商業教科書	上, 下 : 全2冊	1932年2月20日訂正	1932年2月25日	大阪府教育会	六聖館	各38				

商業科系

分類	書名	卷冊	発行年月日	検定年月日	著者	発行者	定価	臨時定価	備考	所蔵
161 Ⅲ③ 初等教育	商業教科書 (改訂上)	下:全2冊	1932年 2月26日改訂四版	1932年 3月 1日 湯川征吉	目黒甚七	40,45				※32
162 " 初等教育	商業教科書 女子用 上, 下:全2冊		1932年 2月26日改訂四版	1932年 3月 1日 湯川征吉	目黒甚七	38,32				※33
163 " 初等商業簿記	上, 下:全2冊		1932年 3月13日訂正	1932年 3月16日 大阪府教育會	六曜館	各19				
164 " 商業教科書	上, 下:全2冊		1932年 3月30日修正再版	1932年 4月 6日 東京府立師範学校同窓会	石田嘉一	各35				
165 " 商業簿記教科書	上, 下:全2冊		1932年 3月30日修正再版	1932年 4月 6日 東京府立師範学校同窓会	石田嘉一	20,22				
166 " 女子 商業教科書	上, 下:全2冊		1932年 3月30日修正再版	1932年 4月 6日 東京府立師範学校同窓会	石田嘉一	35,22				
167 " 高等小学 商業教科書	上, 下:全2冊		1932年 4月13日修正再版	1932年 4月19日 東京市教育監局	石田嘉一	各35				
168 " 高等小学 商業簿記教科書	上, 下:全2冊		1932年 4月13日修正再版	1932年 4月19日 東京市教育監局	石田嘉一	15,20				
169 " 広島県商業教科書 女用	上, 下:全2冊		1932年 4月12日修正再版	1932年 4月21日 広島県教育會	跡文堂	37,30				
170 " 女子簿記新教科書	全1冊		1932年 9月 10日	1932年 11月30日 桑富次郎, 折本安男, 大正洋行	繁田利男	20				○ n
171 " 商業教科書	上, 下:全2冊		1932年12月 6日修正四版	1932年12月 9日 商業教育研究会	石田嘉一	各40				※34
172 " 改訂 簿記新教科書 女用	全1冊		1932年12月13日改訂再版	1932年12月16日 佐藤仁寿	富山房	26				※35
173 " 改訂 簿記新教科書 男児用	上, 下:全2冊		1932年12月15日改訂再版	1932年12月20日 佐藤仁寿	富山房	25				※36
174 " 初等 簿記新教科書	全1冊		1932年12月16日訂正再版	1932年12月26日 佐藤仁寿	左文庫	25				
175 " 高等小学 簿記教科書	上, 下:全2冊		1932年12月26日訂正再版	1933年 1月11日 田中源三	金井基祐	23,25				
176 " 改訂 新制 簿記教科書	上, 下:全2冊		1932年12月26日改訂再版	1933年 1月12日 唯野真琴	鈴木源徳	20,24				※37
177 " 最新 商業教科書 四訂版	上, 下:全2冊		1933年 4月 4日訂正再版	1933年 4月14日 稲間龜輔	稻間龜輔	各35				○ o
178 " 最新 女子商業詭本	上巻, 下巻・簿記編	1933年 4月 4日訂正再版	1933年 4月18日 稲間龜輔	稻間龜輔	各30					○ p
179 " 新制 女子商業教科書	全1冊		1933年 4月13日訂正再版	1933年 4月20日 伊藤薰, 大橋玄次郎, 田辺竹雄	鈴木源徳	36				
180 " 商業簿記教科書	上, 下:全2冊		1933年 4月16日修正再版	1933年 5月 6日 神奈川県教育會	石田嘉一	18,25				
181 " 新訂 商業教科書	全2冊		1933年 4月18日修正再版	1933年 5月15日 神奈川県教育會	石田嘉一	各38				○ q
182 " 女子 商業教科書	上, 下:全2冊		1933年 4月28日修正四版	1933年 5月15日 東京府立師範学校同窓会	岸邦夫	35,32				※38
183 " 新編 女子商業教科書	全2冊		1933年11月19日訂正	1933年11月24日 六曜館編集所	六曜館	各40				
184 " 高等小学 商業簿記	全1冊		1934年 2月 2日修正再版	1934年 2月 3日 高瀬莊太郎	三省堂	42				
185 " 近代商業書	全2冊		1934年 2月 5日修正再版	1934年 2月19日 商事調査会	田中不二	各30				
186 " 商業教科書	全2冊		1934年 2月15日修正六版	1934年 2月27日 商業教育研究会	石田嘉一	各40				※39
187 " 高等小学 商業教科書	全2冊		1934年 2月15日修正五版	1934年 3月 5日 神奈川県教育監	小野鶴太郎	各30				※40
188 " 新商業教科書	上, 下:全2冊		1934年 2月20日修正再版	1934年 3月 5日 京都府教育會	岸邦夫	38,40				○ r
189 " 改訂 実践新商業教科書	上, 下:全2冊		1934年 3月 4日修正第四版	1934年 3月 8日 桑富次郎, 折本安男, 大正洋行	32,33					※41
190 " 初等商業教科書	上, 下:全2冊		1934年 3月 5日訂正再版	1934年 3月 8日 植原寿一, 遠藤義芳美	宮島安治郎	32,34				
191 " 女子 最新商業教科書	全2冊		1934年 3月 5日修正再版	1934年 3月17日 浅野睦雄	柳原書店	各38				

商業科系

分類	書名	卷冊	発行年月日	検定年月日	著者	発行者	定価	臨時定価	備考	所蔵
192 Ⅲ③ 新訂 実践商業事項	全1冊	1934年 3月18日修正三版	1934年 3月20日	坂本陶一		同文館	75			※42
193 " 構築 女子商業簿記教科書	全1冊	1934年 3月17日修正三版	1934年 3月24日	福田威一		井手群治	22			
194 " 新訂 女子商業教科書	全1冊	1934年 3月25日修正再版	1934年 3月28日	東京府立師範学校同窓会		岸邦夫	38			
195 " 新商業教科書	全2冊	1934年 4月 5日訂正再版	1934年 4月 6日	湯川征吉		山本慶治	各33			
196 " 商業読本	全2冊	1934年 4月25日訂正第四版	1934年 5月16日	増地廉治郎		辻村良輔	各35			※43
197 " 新制 女子商業読本	全1冊	1934年 4月25日訂正第四版	1934年 5月16日	増地廉治郎		辻村良輔	40			※44 ○ s
198 " 高等小学校 商業教科書	全2冊	1934年 7月31日訂正	1934年 8月 3日	静岡県教育会		六野館	各25			
199 " 三訂 商業新教科書 男児用 上、下：全2冊		1934年12月21日訂正四版	1935年 1月10日	上田貞次郎	佐藤仁二寿	富山房	36,39			※45
200 " 三訂 商業新教科書 女児用 全1冊		1934年12月21日訂正四版	1935年 1月10日	上田貞次郎	佐藤仁二寿	富山房	37			※46
201 " 高等小学商業書	全2冊	1935年 1月10日訂正再版	1935年 1月14日	名古屋市教育会		星野書店	各13			
202 " 高等小学簿記書	全2冊	1935年 1月10日訂正再版	1935年 1月14日	名古屋市教育会		星野書店	各7			
203 " 最新商業教本	全2冊	1935年 1月15日訂正再版	1935年 1月15日	岡部繁雄		鈴木常松、 鈴木政雄	各35			
204 " 新訂 商業教科書 全2冊		1935年 1月 7日修正第四版	1935年 1月16日	神奈川県教育会		岸邦夫	各38			※47
205 " 改訂 新製簿記教科書 上、下：全2冊		1935年 1月28日訂正四版	1935年 2月 5日	後藤一郎		金井基祐	18,22			※48
206 " 新製 女子商業教科書 全1冊		1935年 1月30日修正再版	1935年 2月 6日	井上八雄		岸邦夫	30			
207 " 改訂新制 簿記教科書（改訂版） 女子用 全1冊		1935年 2月 8日訂正再版	1935年 2月16日	唯野真季		鈴木源蔵	20			※49
208 " 新製女子商業教科書（改訂版） 上、下：全2冊		1935年 2月15日訂正四版	1935年 2月21日	福田威一		上田貞次郎	30,28			※50
209 " 新訂 商業教科書 全2冊		1935年 2月15日修正再版	1935年 2月26日	長崎県教育会		岸邦夫	各38			
210 " 商業簿記教科書 上、下：全2冊		1935年 3月10日修正再版	1935年 3月30日	長崎県教育会		岸邦夫	20,28			
211 " 初等商業簿記教科書 上、下：全2冊		1935年 3月25日訂正再版	1935年 4月 9日	広島県教育会		楠間龜輔	20,25			
212 " 改訂 簿記教科書 全2冊		1935年 4月17日訂正	1935年 4月18日	静岡県教育会		六野館	各15			
213 " 高等小学女子商業書	全1冊	1935年 5月 5日	1935年12月11日	名古屋市教育会		吉見書店	12			
214 " 三訂 等記新教科書 女児用 全1冊		1935年 5月20日三訂版	1935年12月13日	佐藤仁二寿		星野書店	19			※51
215 " 新制 商業教科書 全2冊		1935年12月30日修正再版	1936年 1月 8日	内沢廉吉		同文館	各35			
216 " 二訂 簿記新教科書（男児用）全2冊		1935年12月23日三訂版再版	1936年 1月15日	佐藤仁二寿		富山房	各19			※52
217 " 商業小説本 全2冊		1936年 1月28日修正再版	1936年 2月 5日	深見義一		山室金造	各35			
218 " 新訂 商業簿記教科書 三訂版 上、下：全2冊		1936年 3月10日修正再版	1936年 3月19日	神奈川県教育会		岸邦夫	18,25			
219 " 最新 簿記教科書 三訂版 上、下：全2冊		1936年 4月20日訂正再版	1936年 5月21日	梅間龜輔		梅間龜輔	20,25			
220 " 最新 女子商業読本 改訂版 全1冊		1936年 5月15日訂正再版	1936年 7月17日	楠間龜輔		楠間龜輔	38	○ t		
221 " 最新 女子商業読本 改訂版 全2冊		1936年 5月15日修正四版	1936年10月 5日	楠間龜輔		楠間龜輔	各30			※53
222 " 最新 商業教科書 四訂版 上、下：全2冊		1936年 5月15日訂正四版	1936年11月18日	楠間龜輔		楠間龜輔	21,35			※54
223 " 商業簿記小本	全2冊	1937年 1月23日修正再版	1937年 1月29日	深見義一		山室金造	各25			
224 " 高等小学 商業教科書 全2冊		1937年 2月15日修正再版	1937年 2月26日	愛知県教育会		川瀬書店	各23			
225 " 高等小学 簿記教科書 全2冊		1937年 2月15日修正再版	1937年 2月26日	愛知県教育会		川瀬書店	各19			
226 " 最新 商業教科書 五訂版 上、下：全2冊		1937年 3月25日訂正六版	1937年 4月 7日	楠間龜輔		帝国図書	21,35			※55
227 " 商業新教科書	全2冊	1937年 4月20日修正再版	1937年 4月28日	松本豊一		東洋図書	35,36			
228 " 最新商業簿記教科書	全2冊	1937年 4月15日修正再版	1937年 5月 6日	新潟県教育会		山室金造	各25			

分類	書名	卷冊	発行年月日	検定年月日	著者	発行者	定価	臨時定価	備考	所蔵
229	Ⅲ③ 最新商業教科書 改訂版	上、下：全2冊	1937年 4月20日修正再版	1937年 5月 7日	新潟県教育会	山室金造	35.38			
230	" 最新商業教科書	全2冊	1937年 4月30日修正再版	1937年 5月21日	新潟県教育会	山室金造	各30			
231	" 最新 小学生簿記書	一、二：全2冊	1938年 1月29日修正	1938年 2月10日	田中清三	鶴木房	15.20			
232	" ベン習字 近代筆記書	一、二、帳簿：	1938年 1月29日修正	1938年 2月10日	田中清三	鶴木房	10.15			
233	" 女子 痘記新教科書	全1冊	1938年 1月18日	1938年 3月15日	松本喜一	東洋図書	24			
234	" 女子 商業新教科書	全1冊	1938年 3月18日修正再版	1938年 3月25日	松本喜一	東洋図書	38			
235	" 簿記新教科書 商業書	上、下：全2冊	1938年 3月18日修正再版	1938年 3月25日	松本喜一	東洋図書	23.25			
236	" 高等小学女子商業書	全1冊	1939年 1月25日訂正再版	1939年 1月27日	名古屋市教育会	星野書店	15			※56
237	" 高等小学商業書	全2冊	1939年 1月25日訂正四版	1939年 1月27日	名古屋市教育会	星野書店	各16			※57
238	" 最新 商業教科書 六訂版	全2冊	1939年 4月25日訂正八版	1939年 5月16日	編間龜楠	星野書店	各9			※58
239	" 最新 痘記新教科書 四訂版	上、下：全2冊	1939年 5月10日訂正四版	1939年 6月28日	編間龜楠	編間龜楠	各29			
240	" 最新 女子商業読本 三訂版	全2冊	1939年 5月15日訂正六版	1939年 7月 3日	編間龜楠	編間龜楠	20.25			
241	" 最新 女子商業読本 三語版 (改訂)	全1冊	1939年 9月26日訂正	1939年 7月 3日	編間龜楠	編間龜楠	各27			
242	" 最新 小学校商業教科書 (改訂) 全2冊			1939年 9月26日訂正	1939年 10月 2日	静岡県教育会	編間龜楠	40		
243	" 高等学校商業教科書 版)					六盤館、吉見書店	各23			
244	" 女子 新商業教科書 新訂版 全1冊		1940年 3月11日修正第四版	1940年 3月14日	森宮次郎、折本安男、繁田利男	帝國図書	38			
245	Ⅲ④ Kaiselkwan's Natural Slant Penmanship	全5冊	1918年10月30日訂正再版	1919年 5月31日	西野虎吉	東京開成館	各11	20)	各19	
246	Ⅲ⑤ Kaiselkwan's Modern Penmanship	全7冊	1916年11月 3日	1916年12月27日	西野虎吉	西野虎吉	各10			
247	" New School Penmanship	全7冊	1917年 7月10日訂正三版	1917年 9月11日	西野虎吉	西野虎吉	各11			※59
248	Ⅲ⑥ 最新 商業教科書 改訂版	上、下：全2冊	1921年 2月 9日改訂四版	1921年 2月22日	編間龜楠	編間龜楠	各35	'27)	各50	※60
249	" 最新 商業階梯	上、下：全2冊	1928年 5月 7日訂正再版	1928年 5月10日	市川友三郎	木村五郎治	23.31	'29)	38.50	
250	Ⅲ⑦ 商業教科書	全1冊	1893年12月 6日再版	1893年12月29日	天城安政	大橋新太郎	60			
251	Ⅲ⑧ 商業簿記	全1冊	1910年 3月 2日訂正再版	1910年 3月 9日	星野太郎、森富次郎	田山宗義	50			
252	" 新選 商事要領	全1冊	1913年12月23日訂正三版	1914年 1月21日	武田英一、森富次郎	松尾孫吉	75			
253	Ⅲ⑨ 緯行誌	上、下：全2冊	1888年 5月26日	1888年 9月11日	荒井泰治	福田仙哉	各15			
254	Ⅲ⑩ 師範課程 簿記学教科書	全1冊	1910年 8月 5日修正第二版	1910年 9月12日	川戸繁吉	富城伊兵衛、玉澤喜一郎	55			
255	Ⅲ⑪ 商事要領及商業算術	全1冊	1913年 6月28日訂正再版	1913年 7月 4日	小林行昌	丸善	85			
256	" 実践 商事要領	全1冊	1915年11月12日訂正再版	1915年11月24日	坂本陶一	同文館	50			
257	" 実践 商事要領	全1冊	1923年 2月 5日修正三四版	1923年 3月13日	坂本陶一	同文館	61	'24)	108	※61

第三章 (商業)

分類	書名	卷冊	発行年月日	検定年月日	著者	発行者	定価	臨時定価	備考	所蔵
IV① 中等 商業要項	全1冊	1933年1月10日訂正再版	1933年1月28日	古館市太郎	大森久吉	107				
2 " 中等 商業簿記	全1冊	1934年3月1日訂正再版	1934年3月6日	古館市太郎	実文館	137				
3 " 商業簿記大意	全1冊	1934年12月12日訂正再版	1934年12月18日	小富山敬保、浜谷源藏	富山房	70				
4 " 中等 商業教科書 改訂版	全1冊	1941年8月11日修正三版	1941年9月3日	井上龜二	帝國書院	95				
IV② 新選 商業簿記	全1冊	1932年2月4日訂正	1932年2月9日	朴木完治、小森辰登	帝國書院	90				
5 " 中学商業教科書	上、下：全2冊	1932年6月9日訂正再版	1932年6月6日	増地慶治郎	東京開成館	75,60				
6 " 中学商業教科書	上、下：全2冊	1932年12月1日訂正再版	1932年12月8日	増井光憲	田口繁蔵	60,65				
7 " 新撰 商業教科書 簿記編	全1冊	1932年12月4日訂正再版	1932年12月8日	増地慶治郎	東京開成館	85				
8 " 中学商業教科書	上、下：全2冊	1932年12月7日訂正四版	1932年12月8日	増地慶治郎	東京開成館	75,50				
9 " 中学商業教科書	全1冊	1932年12月12日訂正	1932年12月15日	井上龜三	帝國書院	101				
10 " 中等 商業教科書	全1冊	1933年1月10日訂正再版	1933年1月28日	古館市太郎	大森久吉	107				
11 " 中等 商事要項	全1冊	1934年1月14日訂正	1934年1月16日	小島昌太郎	雄風館書房	90,110				
12 " 商業教科書	全1冊	1934年1月31日修正再版	1934年2月1日	吉田良三	同文館	101				
13 " 中等商業簿記	全1冊	1934年1月30日訂正再版	1934年2月3日	東京開成館編集所	東京開成館	77				
14 " 初等商業簿記	全1冊	1934年2月9日訂正再版	1934年2月14日	石川文吉	金港堂書籍	50				
15 " 実業科 簡易簿記教科書	全1冊	1934年2月9日訂正再版	1934年2月15日	緒方清	三省堂	100				
16 " 新編 中等商業教科書	全1冊	1934年2月15日修正再版	1934年2月15日	内池廉吉	同文館	82,52				
17 " 中等 商業要項	上、下：全2冊	1934年2月14日修正再版	1934年2月17日	高橋莊太郎	三省堂	85				
18 " 新編 中等商業簿記	全1冊	1934年2月16日訂正再版	1934年2月21日	石川文吉	金港堂書籍	69,66				
19 " 実業科 簡易商業教科書	上、下：全2冊	1934年3月1日訂正再版	1934年3月6日	古館市太郎	実文館	137				
20 " 中等 商業簿記	全1冊	1934年3月27日修正再版	1934年3月30日	武田英一	跡文堂	90				
21 " 新編 中等商業要項	全1冊	1934年3月27日修正	1934年4月23日	金田英	鈴木源德	75				
22 " 新編商業簿記	全1冊	1934年9月8日訂正再版	1934年9月13日	白崎亨一	富山房	78,88				
23 " 中等商業大意	上、下：全2冊	1934年9月15日訂正再版	1934年12月18日	小富山敬保、浜谷源藏	富山房	70				
24 " 商業簿記大意	全1冊	1934年12月12日訂正再版	1934年12月18日	小富山敬保、浜谷源藏	富山房	80				
25 " 中等商業教科書	全1冊	1944年12月24日修正再版	1935年1月10日	商事調査会	東京開成館	75,50				
26 " 中等商業教科書	上、下：全2冊	1934年12月30日訂正六版	1935年1月12日	増地慶治郎	富木房	80				
27 " 昭和中等商業書	全1冊	1935年1月21日修正再版	1935年1月22日	商事調査会	同文館	98				
28 " 中等 商業教科書	全1冊	1935年2月1日修正再版	1935年2月4日	田尻常造						
29 " 邪近 商業簿記教科書	全1冊	1935年2月5日訂正	1935年2月8日	西垣直記、遠藤俊	皆川忠一郎	85				
30 " 中等商業要項	全1冊	1935年2月5日訂正再版	1935年2月13日	古館市太郎	実文館	104				
31 " 邪近 中学商業教科書	全1冊	1935年2月10日訂正	1935年2月16日	前馬治一、天野佐	皆川忠一郎	120				
32 " 中等商事教科書	全1冊	1935年2月22日修正第二版	1935年2月23日	桑曾次郎、槇田利男	大正洋行	95				
33 " 最新 商業簿記	全1冊	1935年12月19日訂正	1935年12月24日	古川鶴造	帝國書院	50				
34 " 商業教科書 改訂版	全1冊	1936年1月20日訂正四版	1936年1月30日	増井光憲	田口繁蔵	110				
35 " 新編 商業教科書	全1冊	1936年2月10日訂正	1936年2月13日	古川鶴造	帝國書院	50				
36 " 中等商業教科書	全1冊	1936年2月23日訂正再版	1936年3月2日	村瀬玄、安藤春夫	松邑孫吉	84				
37 " 中等商業簿記教科書	全1冊	1936年3月10日訂正再版	1936年3月13日	村瀬玄	松邑孫吉	90				
38 " 現行 新商事要項	全1冊	1936年3月14日訂正再版	1936年3月17日	武田英一、森富次郎	松邑孫吉	87				
39 " 実践商業簿記	全1冊	1937年5月7日	1937年5月7日	青木會	青木會	77				
40 " 中等新商業教科書 簿記編	全1冊	1937年12月18日訂正	1937年12月22日	渡部明	小神正春	75				
41 " 中学商業教科書 簿記編	全1冊	1937年12月15日訂正四版	1937年12月27日	増地慶治郎	東京開成館	85				

美術系科（商業編）

分類	書名	卷冊	発行年月日	検定年月日	著者	発行者	定価	臨時定価	備考	所蔵
42 IV② 改訂	中等商業要項	全1冊	1937年12月30日修正四版	1938年1月19日	内池廉吉	同文館	100	※66		
43 " 新提	中等商業簿記	全1冊	1938年2月28日修正	1938年3月16日	小野澤義勝	井手群治	80			
44 " 改訂	中等商業教科書	全1冊	1939年1月15日修正四版	1939年1月17日	田尻常徳	同文館	94	※67		
45 " 改訂	中等簿記教科書	全1冊	1939年1月25日修正四版	1939年1月27日	吉田良三	同文館	91	※68		
46 " 販近	中等商業教科書	全1冊	1939年11月20日訂正四訂	1939年12月5日	前馬治一, 天野広	皆川忠一郎	130			
47 " 中字商業教科書	上, 下 : 全2冊	1940年1月19日訂正八版	1940年1月22日	増地廣治郎	東京開成館	90, 50				
48 " 中字商業教科書	上, 下 : 全2冊	1941年8月22日修正九版	1941年9月2日	増地廣治郎	東京開成館	90, 50				
49 " 改訂	中等商業要項	全1冊	1941年11月15日修正五版	1941年12月9日	内池廉吉	同文館	100			
50 " 中等商業教科書	全1冊	1942年5月15日訂正三版	1942年5月23日	村瀬玄, 安藤春夫	松邑孫吉	84				
51 IV③ 最新	商業新教科書	上, 下 : 全2冊	1923年1月19日訂正再版	1923年5月8日	柳間龜楠	29, 35	※24) 45, 50			
52 " 女子	実業新教科書	全1冊	1932年2月11日修正再版	1932年2月17日	喜田茂一郎	西ヶ原刊行会	150			
53 " 女子新商業要項	全1冊	1933年12月20日修正第二版	1934年1月9日	桑當次郎, 折本安男, 大正洋行	70					
54 " 初等簿記教科書	全1冊	1934年12月24日修正再版	1935年1月10日	商事調査会	青木房	60				
55 " 昭和中等商業書	全1冊	1935年1月15日修正再版	1935年1月22日	商事調査会	青木房	80				
56 " 中等新商業要項	全1冊	1935年2月25日修正第二版	1935年11月26日	繁田利男	大正洋行	95				
57 " 女子商業教科書	全1冊	1935年12月23日修正再版	1935年12月21日	内池廉吉	同文館	66				
58 " 女子簿記教科書	全1冊	1936年2月12日修正再版	1936年2月13日	吉田良三	同文館	95				
59 " 現代 女子商業教科書	全1冊	1936年2月28日訂正再版	1936年3月4日	増地廣治郎	東京開成館	100				
60 " 現代 女子商業簿記	全1冊	1936年2月28日訂正再版	1936年3月4日	増地廣治郎	東京開成館	85				
61 " 女子簿記教科書	全1冊	1936年12月18日訂正	1936年12月22日	渡部明	小神正春	48				
62 " 女子 海記教科書	全1冊	1936年12月21日訂正	1937年1月7日	吉川鶴造	帝國書院	65				
63 " 女子 商業教科書	全1冊	1936年12月23日訂正	1937年1月7日	吉川鶴造	帝國書院	55				
64 " 新女子商業教科書	全1冊	1937年12月21日訂正再版	1938年1月7日	平地平一	梅引成太	70				
65 " 女子新商業教科書	全1冊	1938年1月27日訂正再版	1938年2月10日	武田二, 石田壯吉	松邑孫吉	65				
66 " 改訂	女子商業教科書	全1冊	1938年12月10日修正四版	1938年12月14日	内池廉吉	同文館	73	※69		
67 " 女子 新商業教科書	全1冊	1939年1月6日訂正	1939年1月11日	安達太郎	小神正春	80				
68 " 女子商業要項	全2冊	1939年1月20日修正再版	1939年1月24日	藤本幸太郎	宮本栄作	35				
69 " 女子新商業簿記	全1冊	1940年1月27日訂正再版	1940年2月1日	唯野真琴	松邑孫吉	60				
70 " 現代 女子商業教科書	全1冊	1941年8月3日修正三版	1941年8月9日	増地廣治郎	東京開成館	100				
71 " 改訂	女子商業教科書	全1冊	1941年11月15日修正五版	1941年12月9日	内池廉吉	同文館	73			
72 " 女子新商業要項	全1冊	1941年11月15日修正第三版	1941年12月22日	桑當次郎, 折本安男, 大正洋行	70					
73 " 女子新商業教科書	全1冊	1942年5月20日訂正三版	1942年5月27日	繁田利男	武中武一, 石田壯吉	65				
74 IV④ 商事要項及商業算術	全1冊	1920年7月31日修正四版	1920年11月8日	小林行昌	丸善	85	※21) 187			
75 " 新制商業教科書	上, 下 : 全2冊	1933年3月3日訂正再版	1933年3月7日	武田英一	岩田智光	64, 61				
76 " 中等 商業大意	全1冊	1934年2月16日訂正再版	1934年2月22日	岩本登治	富山房	95				
77 " 中等 商業教科書 改訂版	全1冊	1935年1月4日訂正	1935年1月14日	井上龜三	帝國書院	100				
78 " 中等 商業大意	全1冊	1935年1月18日訂正	1935年1月25日	堀光龜	昭和図書	95				
79 " 改訂	中等商業大意	全1冊	1936年12月21日訂正四版	1937年1月7日	岩本啓治	富山房	95	※70		

商業科（商業）

分類	改訂	書名	卷冊	発行年月日	検定年月日	著者	発行者	定価	臨時定価	備考	所蔵
80	IV④	中等商業大意	全1冊	1941年 8月 7日訂正五版	1941年 8月 23日	岩本啓治	富山房	95			
81	IV⑤	新商事要領	全1冊	1935年12月13日訂正四版	1935年12月26日	黒川善一、石田壯吉	松山孫吉	50			
82	"	総合 商業教科書	全1冊	1936年12月24日訂正	1937年 1月 9日	吉川鶴雄	帝國書院	80			
83	IV⑥	中等 梅記教科書	全1冊	1937年 1月 29日訂正	1937年 2月 4日	細井安次郎	帝國書院	88			

備考欄註

- ※1) 『第三』の発行日は実物にも記載なし。
- ※2) 1928年2月9日検定済「手工科教科書No.11」を修正。
- ※3) 「図書表」では小学校の手工科用書として記載されている。
- ※4) 「図書表」の検定年月日は1938年19月27日とされ、月に関して誤植がある。
- ※5) 発行年月日の「全」はママ。
- ※6) 1903年12月22日検定済「商業科系教科書No.11」を修正。
- ※7) 1903年9月13日検定済「商業科系教科書No.16」を修正。
- ※8) 「図書表」では「高等小学校唱歌科児童用」として記載されている。
- ※9) 1906年3月27日検定済「商業科系教科書No.18」を修正。
- ※10) 「図書表」では「高等小学校農業科児童用」として記載されている。
- ※11) 1911年5月16日検定済「商業科系教科書No.27」を修正。
- ※12) 1913年12月16日検定済「商業科系教科書No.35」を修正。
- ※13) 1910年3月2日検定済「不明」を修正。
- ※14) 1914年11月10日検定済「商業科系教科書No.39」を修正。
- ※15) 1917年4月12日検定済「商業科系教科書No.49」を修正。
- ※16) 1914年1月27日検定済「商業科系教科書No.37」を修正。
- ※17) 1914年1月9日検定済「商業科系教科書No.36」を修正。
- ※18) 1914年2月24日検定済「商業科系教科書No.38」を修正。
- ※19) 1916年1月29日検定済「商業科系教科書No.44」を修正。
- ※20) 1921年9月27日検定済「不明」を修正。
- ※21) 1927年2月22日検定済「商業科系教科書No.248」を修正。
- ※22) 1924年3月18日検定済「商業科系教科書No.66」を修正。
- ※23) 1927年2月12日検定済「商業科系教科書No.74」を修正。
- ※24) 1929年2月22日検定済「商業科系教科書No.97」を修正。
- ※25) 1929年2月21日検定済「商業科系教科書No.96」を修正。
- ※26) 1929年11月5日検定済「商業科系教科書No.107」を修正。
- ※27) 1929年1月29日検定済「商業科系教科書No.90」を修正。
- ※28) 1929年1月16日検定済「商業科系教科書No.89」を修正。
- ※29) 上 (No.148) と同一の記載内容であるが別個の書として登録されている。
- ※30) 上二つ (No.148、149) と同一の記載内容であるが別個の書として登録されている。
- ※31) 上 (No.153) と同一の記載内容であるが別個の書として登録されている。
- ※32) 1930年1月17日検定済「商業科系教科書No.114」を修正。
- ※33) 1929年12月3日検定済「商業科系教科書No.108」を修正。
- ※34) 1931年12月19日検定済「商業科系教科書No.149」を修正。
- ※35) 1930年1月14日検定済「商業科系教科書No.112」を修正。
- ※36) 1930年1月16日検定済「商業科系教科書No.113」を修正。
- ※37) 1929年5月10日検定済「商業科系教科書No.105」を修正。
- ※38) 1932年4月6日検定済「商業科系教科書No.166」を修正。
- ※39) 1931年12月19日検定済「商業科系教科書No.148～150」を修正。
- ※40) 1932年4月19日検定済「商業科系教科書No.167」を修正。
- ※41) 1931年1月31日検定済「商業科系教科書No.135」を修正。
- ※42) 1923年3月13日検定済「商業科系教科書No.257」を修正。
- ※43) 1931年2月18日検定済「商業科系教科書No.138」を修正。

- ※44) 1931年5月15日検定済〔商業科系教科書No145〕を修正。
 b) 1冊〔「卷1」〕のみ所蔵.
 c) 1冊〔「上巻」〕のみ所蔵.1905年発行の訂正6刷.
 d) 1913年発行の8刷と1915年発行の5刷.ただし書名は一部異なる。原文は「訂正 小学商業教科書」とある。また巻冊も上・下2冊の他に記帳法1冊の全3冊とされている。
- ※45) 1931年12月9日検定済〔商業科系教科書No146〕を修正。
 e) 1冊〔「1学年」用〕のみ所蔵. 1909年発行の9刷.
- ※46) 1931年12月9日検定済〔商業科系教科書No147〕を修正。
 f) 1冊〔「2学年」用〕のみ所蔵.
- ※47) 1933年5月15日検定済〔商業科系教科書No158〕を修正。
 g) 卷二のみ所蔵.
- ※48) 1932年2月13日検定済〔商業科系教科書No159〕を修正。
 h) 1934年発行の50刷。書名は『最新 漢記教科書』とされ、「改訂版」の文字がない如くである。
- ※49) 1930年12月27日検定済〔商業科系教科書No130〕を修正。
 i) 上巻のみ所蔵. 1932年発行の訂正5刷.
- ※50) 1931年3月18日検定済〔商業科系教科書No142〕を修正。
 j) 下巻のみ所蔵. 1933年発行の5刷.
- ※51) 1932年12月16日検定済〔商業科系教科書No172〕を修正。
 k) 上巻のみ所蔵. 1933年発行の8刷.
- ※52) 1932年12月20日検定済〔商業科系教科書No173〕を修正。
 l) 1937年発行の8刷.ただし検定年月日は「昭和5年2月5日」とある。これは1931(昭和6)年の誤りであるともわれる。
- ※53) 1933年4月18日検定済〔商業科系教科書No178〕を修正。
 m) 1938年発行の修正5刷。『東書目録』では「旧制女学校教科用書」として分類されているが(第1集、P.463)、これは高等小学校商業科児童用書の誤りであるとみられる。
- ※54) 1933年4月14日検定済〔商業科系教科書No222〕を修正。
 n) 1938年発行の20刷。これも『東書目録』では「旧制女学校教科用書」として分類されている(同上).
- ※55) 1936年11月18日検定済〔商業科系教科書No223〕を修正。
 o) 上巻は1934年発行の10刷、下巻は同年発行の10刷。書名は『最新商業教科書』とされ、「四訂版」の文字がない如くである。
- ※56) 1935年12月11日検定済〔商業科系教科書No201〕を修正。
 p) 下巻. 漢記編の1冊のみ所蔵. 1934年発行の50刷.
- ※57) 1935年1月14日検定済〔商業科系教科書No201〕を修正。
 q) 1934年発行の3刷.
- ※58) 1935年1月14日検定済〔商業科系教科書No202〕を修正。
 r) 下巻のみ所蔵. 刷次は3刷.
- ※59) 1911年10月23日検定済〔不明〕を修正。
 s) 1938年発行の12刷.
- ※60) 1913年1月31日検定済〔不明〕および同年5月18日検定済〔不明〕を修正。
 t) 1937年発行の15刷。書名は『最新女子商業読本』とされ、「改訂版」の文字がない如くである。
- ※61) 1915年11月24日検定済〔商業科系教科書No256〕を修正。
 u) 上巻のみ所蔵. 1934年発行の3刷.
- ※62) 1932年5月6日検定済〔商業科(商業)教科書No6〕を修正。
 v) 1938年発行の12刷.
- ※63) 1932年12月8日検定済〔商業科(商業)教科書No9〕を修正。
 w) 1938年発行の12刷.
- ※64) 1932年12月8日検定済〔商業科(商業)教科書No7〕を修正。
 x) 1938年発行の12刷.
- ※65) 1933年12月8日検定済〔商業科(商業)教科書No8〕を修正。
 y) 1938年発行の12刷.
- ※66) 1934年2月15日検定済〔商業科(商業)教科書No17〕を修正。
 z) 1938年発行の12刷.
- ※67) 1935年2月4日検定済〔商業科(商業)教科書No28〕を修正。
 aa) 1934年2月1日検定済〔商業科(商業)教科書No13〕を修正。
 bb) 1935年2月27日検定済〔商業科(商業)教科書No57〕を修正。
 cc) 1934年2月22日検定済〔商業科(商業)教科書No76〕を修正。

所蔵欄註

- a) 所蔵本に記されているという検定年月日印の内容については「文部省検定済 小学校教科用書」とのみされ、その年月日は不明。発行年に限っては1888年再版のもの。

※ 上記所蔵欄註における「刷」という用語は『東書目録』では「版」とされて
いる。これら「版」ないし「刷」の含意については、本文第IV章の「版次と
刷次」を参照のこと。